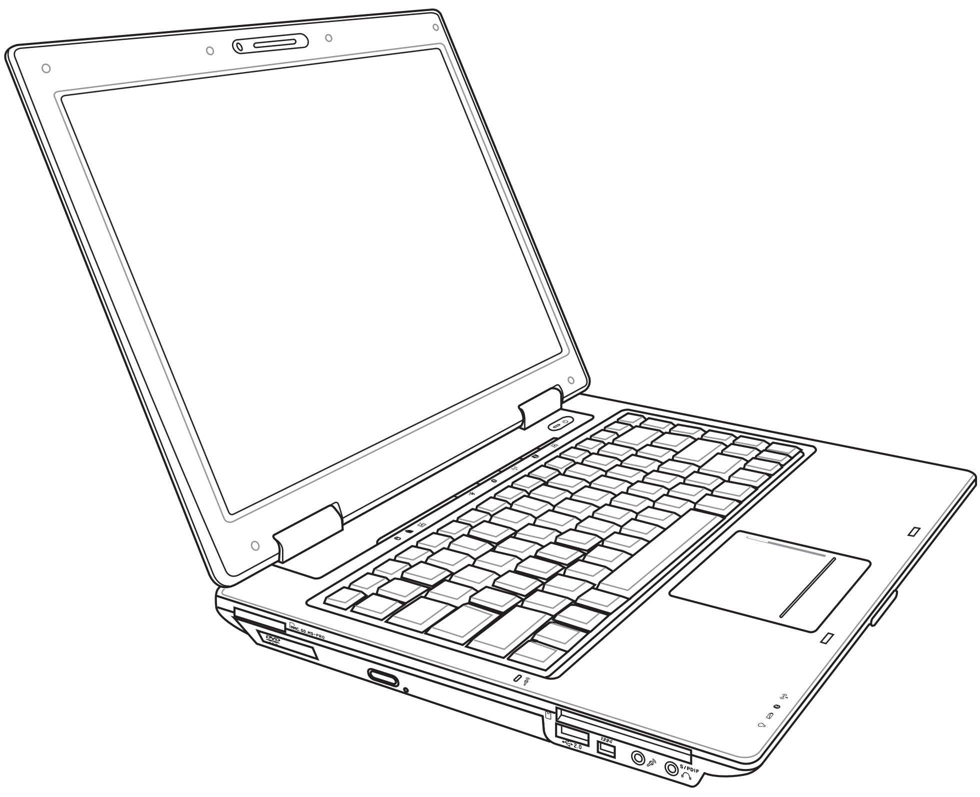
Notebook PC
ハードウェア ユーザーマニュアル



J2378 / 2006年1月

目次

目次

1. Notebook PC の概要

本マニュアルについて
安全に関する注意事項
運搬時の注意
ノートブック PCを準備する

本マニュアルについて

本書は、Notebook PCのユーザーマニュアルです。本書では Notebook PCの構成部品の説明やその使い方について説明します。以下の章から構成されています。



1. Notebook PC の概要
   Notebook PC と本ユーザーマニュアルの概要です。
2. 各部の説明
   Notebook PCの構成部品について解説します。
3. 使用の手引き
   Notebook PCを最初にお使いになる時に必要な情報です。
4. ノートブックPCを使用する
   Notebook PCの各機能の使い方です。
5. 付録
   オプション品の紹介と参考資料です。

本マニュアルの表記について

本文は丸ゴシック体で書かれていますが、いくつかの注意と警告は目立つようにボールド体になっています。これらの注意はその重要性によって以下のように区別されています。

警告！本体の破損、データの消失および人体への障害を防止するための情報です。

ヒント：作業の参考になるヒントです。

注意！本体の破損、データの消失および人体への障害を防止するために必ず行わなければいけない事項です。

注: 作業を完了するために必要な追加情報です。

< >
[ ]

< > または [ ] で囲った文字は、キーボードのキーを示します。実際には、< > や [ ] を入力する必要はありません。

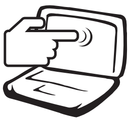
安全に関する注意事項

Notebook PCを末長くお使いいただくために以下の注意事項をすべて守ってください。本マニュアルに記載されていない事項については、専門家のサービスに任せてください。損傷のある電源コードや周辺機器を使用しないでください。本体のクリーニングに、シンナー·ベンジンなどの化学薬品を使用しないでください。

Notebook PCをクリーニングする場合には、電源を切りAC電源アダプタとバッテリーパックを取り外してください。研磨材の含まれていない洗剤を温水で薄めたものを数滴含ませた、きれいな天然スポンジまたはやわらかい布で抜いたあと、乾いた布を使って余分な水分を完全に取り除いてください。

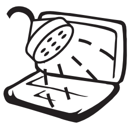

禁止: 平らでない面、不安定な面に置かないでください。筐体を破損した場合には、代理店にご連絡ください。

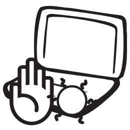

禁止:上に物を置いたり落としたりしないでください。内部に異物が入らないようにしてください。


禁止:ディスプレイパネルを押したり触れたりしないでください。傷がつく恐れがあります。

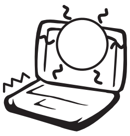

禁止:強い磁気や電磁場を避けてください。


禁止:ホコリや汚れの多い環境下に置かないでください。禁止:ガス漏れの恐れがある場所で使用しないでください。


禁止:液体·雨·湿気を避けてください。禁止:雷が鳴っている時はモデムを使用しないでください。


禁止: Notebook PCの使用中は、底面が熱くなります。ひざの上など人体に長時間接触させて使用すると火傷を負う恐れがあります。


禁止: バッテリーは火中に投入しないでください。廃棄する場合は自治体のルールに従ってください。


禁止:50°C (122°F)を超える場所や、直射日光を避けてください。ファンの通気口を塞がないようにしてください。


禁止:高低温(0℃以下)環境で使用しないでください。Notebook PCは起動しなくなる場合があります。


安全な操作温度: このノートブック PC は 0°C~35°C の周辺温度で使用する必要があります。



入力定格:

モデル1: 19VDC、 3.42A (65W)

モデル2: 19VDC、 4.74A (90W)

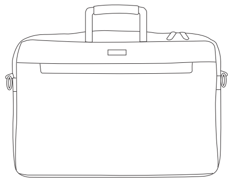

左のマークは、本製品が電気製品または電子装置であり、地域のゴミと一緒に捨てられないことを示すマークです。廃棄の際は、地方自治体の廃棄処理に関する条例または規則等に従って下さい。

運搬時の注意

Notebook PCを持ち運ぶ場合は、電源をオフにし、すべての外部周辺機器を取り外してください。電源がオフになるとハードディスク表面を守るためハードディスクドライブはヘッドを退避させます。したがって電源がオンのときはNotebook PCを移動させないでください。キーボードやディスプレイパネルを保護するため、ディスプレイパネルを閉じ、ラッチがきちんとロックしているかどうか確認してください。

Notebook PCのケース

注：Notebook PC本体表面の「ツヤ」は、正しい扱いをしないと失われてしまいます。本体表面をこすったり引っかいたりしないように注意してください。ノートパソコンを汚れや傷などから守るため、キャリーケースを購入してください。



バッテリーの充電

バッテリー電源を使用する場合には、バッテリーパックをフル充電し、長時間使用する場合は予備のバッテリーパックを用意してください。電源アダプタがコンピュータとAC電源に接続されていると、バッテリーは自動で充電されます。Notebook PCの電源がオンの場合は充電時間も長くなります。

航空機内での使用について

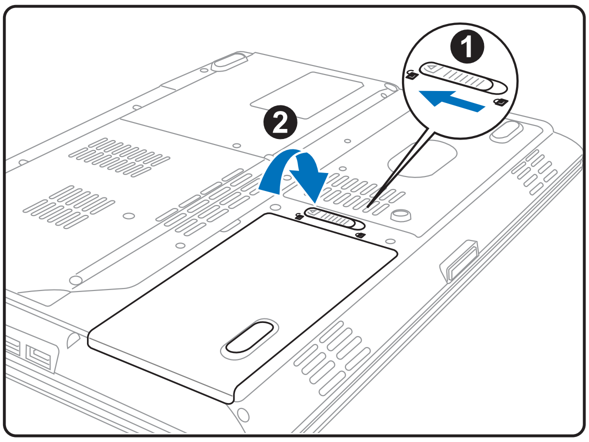
航空機内でNotebook PCを使用する場合には、航空会社にご相談ください。多くの航空会社では、電子機器の使用に対して規定を設けています。一般的に、離陸時･着陸時には電子機器の使用は禁止されています。

注意！空港のセキュリティ装置には３つのタイプがあります。X線装置 （コンベア上の荷物用）、磁気センサ（セキュリティゲートを通過する人間用）、および磁気ワンド(人間や小物用の短い棒)です。Notebook PC や ディスクをX線装置に通すことは問題ありません。しかし、Notebook PC や ディスクを磁気センサ内を通過させたり、磁気ワンドにさらしたりすることは避けた方が無難です。

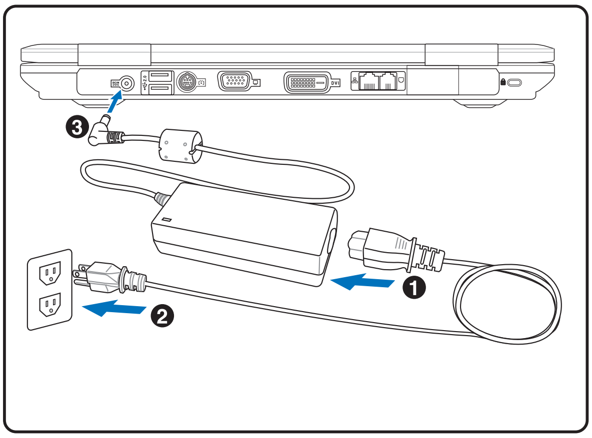
ノートブック PCを準備する

これらは、ノートブックPCを使用するための簡単なガイドに過ぎません。ノートブックPCを使用する際の詳しい情報については、後続のページをお読みください。

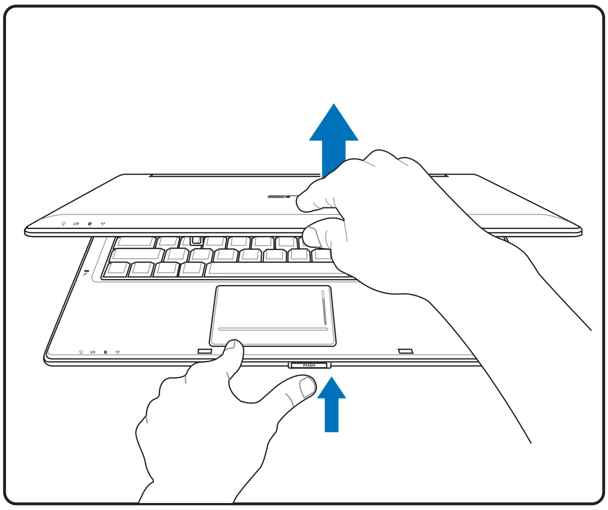
1. バッテリパックの取り付け



2. AC 電源アダプタの接続

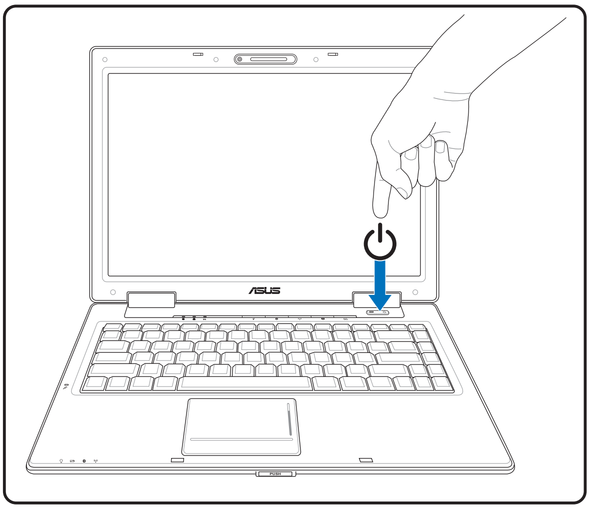


3. 表示パネルを開く



注意! ディスプレイパネルが開いているとき、テーブルに思い切り置かないでください。そうでないと、蝶番が壊れる可能性があります。ディスプレイパネルをつかんでノートブックPCを持ち上げないでください!

4. ノートブックPCの電源にONする



電源ボタンを押して話します。

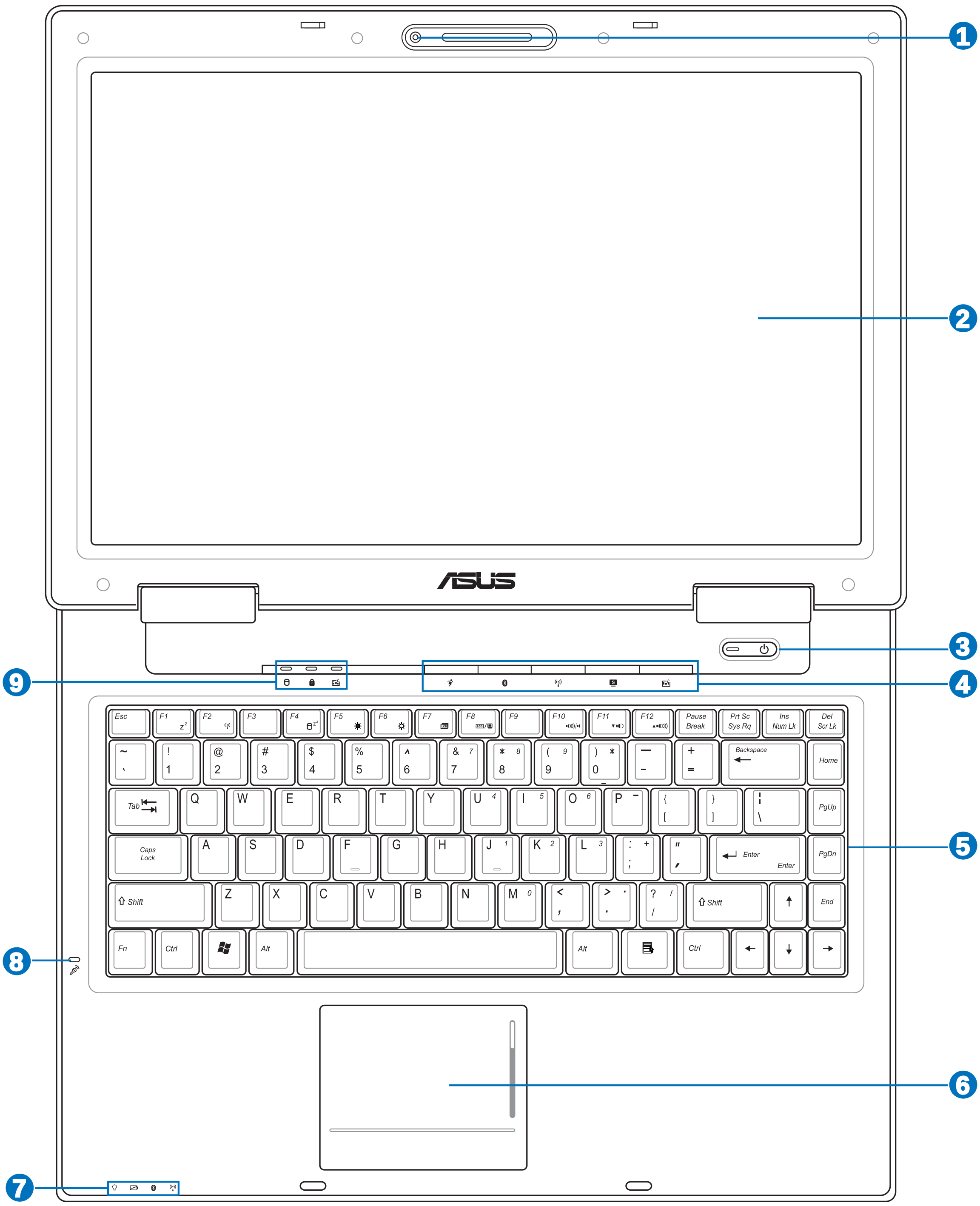
(Windows XPでは、このボタンはノートブックPCの電源を安全にオフするときにも使用します。)

2. 各部の説明

ノートPCのベーシックサイド

上面

下の図を参照してノートブックPCのこの側のコンポーネントを確認してください。



❶ カメラ（セレクトモデル）

内蔵カメラで写真撮影やビデオ録画を行なうことができます。ビデオ会議やその他のインターアクティブなアプリケーションで使用可能です。

❷ ディスプレイパネル

ディスプレイパネルはディスクトップモニタと同じような機能があります。ノートブックPCはアクティブマトリックスTFT LCDを使用して、ディスクトップモニタのようなすばらしい画像を表示するできます。が、ディスクトップモニタとは異なり、LCDパネルは放射線を出したりちらつくことがないので、目にやさしい表示が可能です。ディスプレイパネルは合成洗剤を含まない柔らかい布で拭いて下さい。（必要な場合は水を使用）

❸ 電源スイッチ

電源スイッチにより、ノートブックPCの電源のオン/オフを切り替えたり、STDから復帰することができます。スイッチを一度押すとノートブックPCの電源がオンになり、もう一度押すとオフになります。Windows XPでは、このボタンはノートパソコンの電源をオフにする場合にも使用します。電源スイッチは、ディスプレイパネルが開いているときのみ作動します。

❹ インスタントキー

インスタントキーは、一度のボタン操作で、頻繁に使用するアプリケーションを起動できるようにします。詳細は、本書で後述します。

❺ キーボード

キーボードには楽に指を動かせる（キーを押し下げられる深さ）フルサイズのキーと、両手を載せられるパームレストが付いています。Windows™オペレーティングシステム内で簡単に移動できるように、2つのWindows™機能キーが提供されています。

❻ タッチパッドとボタン

ボタンの付いたタッチパッドはポインティング装置で、デスクトップマウスと同じ機能を提供します。付属のタッチパッドユーティリティをセットアップした後に、ソフトウェアで制御されたスクロール機能を使用すると、Windows やWebを簡単に移動できます。

❼ ステータスインジケータ（前面）

詳細はセクション3に記載しました。

❽ マイク（内蔵）

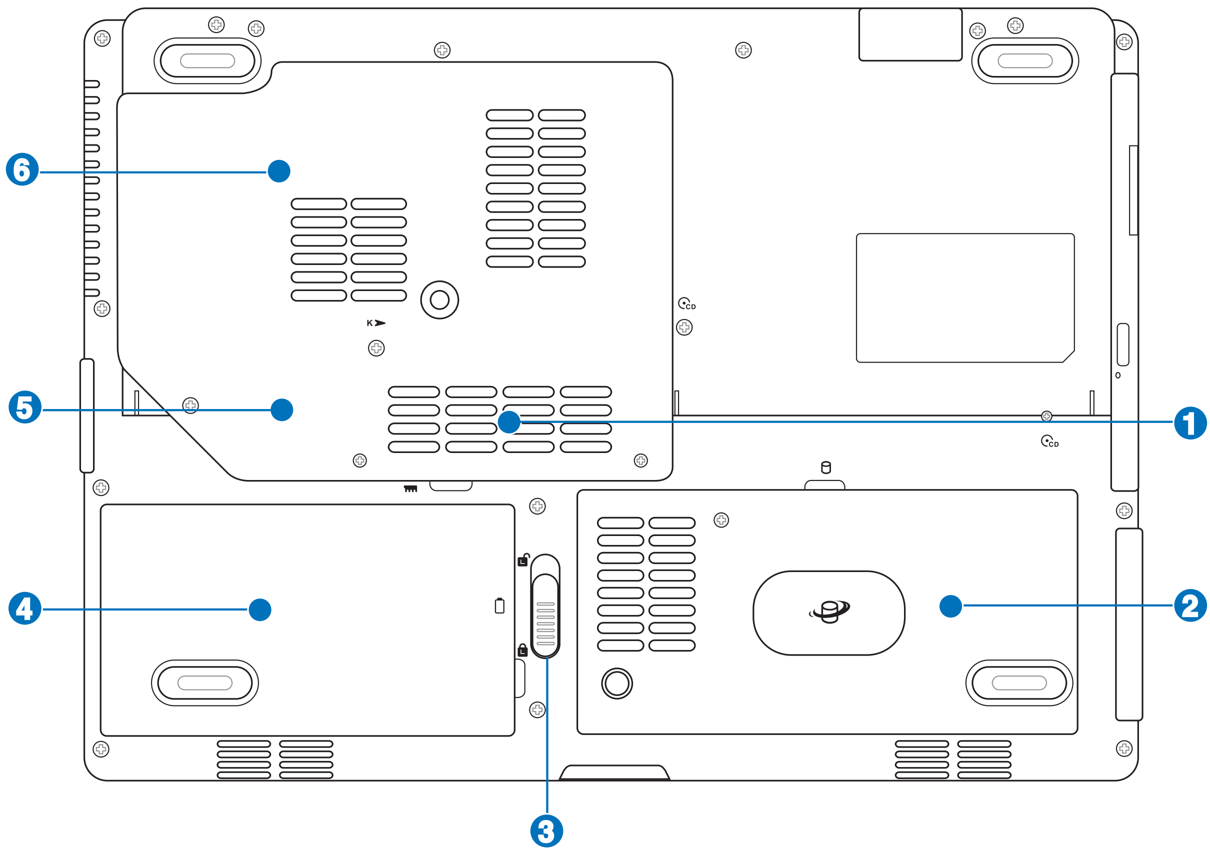
内蔵のモノ・マイクはビデオ会議、音声ナレーション、簡単なオーディオ録音に使用することができます。

❾ ステータスインジケータ（上）

詳細はセクション3に記載しました。

底面

下の図を参照して、ノートブックPCの底面のコンポーネントを確認してください。



警告! ノートブックPCの底面は高熱になります。ノートブックPCを操作している間、またはこれから操作しようとしているときは、注意を払ってください。充電中や操作中は、高い温度になります。やけどの原因となるので、ノートブックPCを膝または身体の他の部分に載せて操作しないでください。

❶ メモリ(RAM)収納部

メモリ収納部は、追加メモリ用に拡張機能を提供しています。追加メモリはハードディスクへのアクセスを減らすことによって、アプリケーションの性能を高めます。BIOSはシステムのメモリ量を自動的に検出し、それによってPOST（パワーオンセルフテスト）プロセスの間CMOSを構成します。メモリを取り付けた後、ハードウェアやソフトウェア（BIOSを含む）のセットアップは必要ありません。ノートブックPCのメモリアップグレードに関する情報については、公認のサービスセンターまたは販売店にお問い合わせください。最大の互換性と信頼性を確実にするために、拡張モジュールはこのノートブックPCの公認販売店からのみご購入ください。

❷ ハードディスクドライブ

ハードディスクドライブは収納部に固定されています。ハードディスクドライブのアップグレードは公認のサービスセンターまたは販売業者しか行うことはできません。

❸ バッテリロック - スプリング

バッテリを固定します。バッテリパックを入れると、自動的にロックします。バッテリパックを取り外す際は、ロックを解除した状態にしてください。

❹ バッテリパック

バッテリパックをAC電源に接続すると自動的に充電が開始され、AC電源が接続されていないときノートブックに電力を供給します。これにより、移動しながらでも使用することが可能です。バッテリの時間は、使用法とこのノートブックの仕様により異なります。バッテリパックは分解で傷、公認のベンダーを通して単一装置として交換する必要があります。

❺ 中央処理装置(CPU)

一部のノートブックPCモデルはソケットの付いたプロセッサ設計を特徴としており、将来より高速なプロセッサにアップグレードすることができます。一部のモデルはULV設計を特徴としてコンパクト化を実現しているため、アップグレードすることはできません。アップグレード情報については、公認のサービスセンターまたは販売店にお問い合わせください。

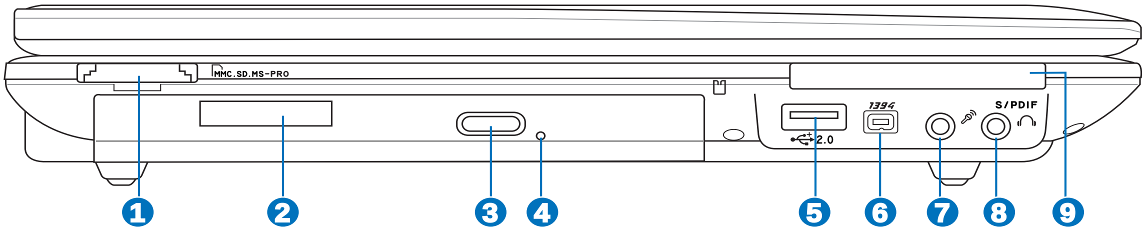
注意！ エンドユーザーがCPUまたはハードディスクドライブを取り外すと、保証は無効になります。

❻ クーリングファン

温度設定に応じて、オン/オフに切り替わります。

左側

下の図を参照して、ノートブックPCの左側のコンポーネントを確認してください。



1 フラッシュメモリスロット

通常、デジタルカメラ、MP3 プレーヤー、携帯電話、PDA などのデバイスからメモリカードを使用するには、PCMCIA または USB メモリカードを別途ご購入いただく必要があります。このノートブック PC はメモリカードリーダーを内蔵し、本書で後述する多くのフラッシュメモリカードを読み込むことができます。 内臓型のメモリー カードリーダーは、高帯域幅のPCIバスを利用しているため、便利なだけでなく、他の多くのメモリーカードリーダーよりも高速です。

2 光学ドライブ

ノートブック PC には、異なる光学ドライブを装備したさまざまなモデルがあります。ノートブックPCの光学ドライブはコンパクトディスク(CD)およびデジタルビデオディスク(DVD)をサポートし、追記(R)または書換可能(RW)機能を搭載しています。各モデルの詳細については、マーケティング仕様をご覧ください。

3 光学ドライブ電子イジェクト

光学ディスク装置の取り出しは、電子イジェクトボタンによって行われ、トレイをオープンします。また、任意のソフトウェアプレーヤーを通して、またはWindows™の「マイコンピュータ」の光学ディスク装置を右クリックしても、取り出しは行われます。

4 光学ドライブ緊急イジェクト

緊急イジェクトは、電子イジェクトが作動しない場合に、ディスク装置のトレイを取り出すために使用されます。電子イジェクトの代わりに、緊急イジェクトを使用しないでください。

5 USBポート (2.0/1.1)

ユニバーサルシリアルバス(USB)はキーボード、ポインティングデバイス、ビデオカメラ、モデム、ハードディスクドライブ、プリンタ、モニタ、および12Mbits/秒 (USB 1.1) および480Mbits/秒 (USB 2.0)までのシリーズに接続されたスキャナなど、多くのUSB互換デバイスをサポートします。USBにより多くのデバイスを、追加のプラグインサイトやハブとして機能するUSBキーボードや一部の新しいモニタなどの周辺装置と共に、単一コンピュータ上で 同時に実行することができます。USBは、デバイスのホットスワップをサポートしているため周辺機器の接続と切り離しをコンピュータの再起動なしに行えます。

❻ 1394 IEEE1394ポート

IEEE1394はSCSIのような高速なシリアルバスですが、USBのような簡単な接続機能とホットプラグ機能を備えています。インターフェイスIEEE1394は100-400 Mbits/秒のバンド幅を持ち、同じバス上で63ユニットまで処理することができます。IEEE1394は高性能ディジタル装置でも使用されるので、ディジタルビデオポート用に「DV」のマークをつける必要があります。

❼ マイクロフォンの入力ジャック

モノのマイクロホン ジャック(1/8インチ)は、外部マイクまたはオーディオ装置からの出力信号に接続するために使用します。このジャックを使用して、自動的に内臓マイクを無効にします。この機能をビデオ会議、音声ナレーション、または簡単なオーディオ録音にしようできます。

❽ SPDIF デジタル出力ジャック

Combo

このジャックは、デジタルオーディオ出力用に SPDIF (Sony/Philips デジタルインターフェイス) 準拠デバイスを提供しています。この機能を使用すると、ノートブックPCは家庭用ハイファイ音響システムに一変します。

ヘッドフォン出力ジャック

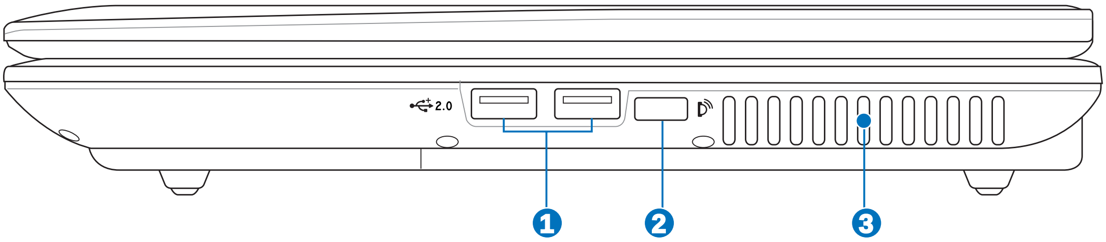
このステレオ ヘッドホン ジャック(1/8 インチ)を使用して、ノートブックPCのオーディオ出力信号をアンプリファイアスピーカまたはヘッドホンに接続できます。このジャックを使用すると、内臓スピーカは自動的に無効になります。

❾ ExpressCard

26ピン Express カードスロットが ExpressCard/34mm(1 枚)と ExpressCard/54mm 拡張カード(1 枚)に対応しています。この新型インターフェースは、PC カードスロットに使用されている旧型のパラレルバスではなく、USB 2.0 とPCI Express 対応のシリアルバスを使用することで高速化を実現しました。 (旧型のPCMCIA カードには非対応)

右側

下の図を参照して、ノートブックPCの右側のコンポーネントを確認してください 。



1 USBポート (2.0/1.1)

ユニバーサルシリアルバス(USB)はキーボード、ポインティングデバイス、ビデオカメラ、モデム、ハードディスクドライブ、プリンタ、モニタ、および12Mbits/秒 (USB 1.1) および480Mbits/秒 (USB 2.0)までのシリーズに接続されたスキャナなど、多くのUSB互換デバイスをサポートします。USBにより多くのデバイスを、追加のプラグインサイトやハブとして機能するUSBキーボードや一部の新しいモニタなどの周辺装置と共に、単一コンピュータ上で 同時に実行することができます。USBは、デバイスのホットスワップをサポートしているため周辺機器の接続と切り離しをコンピュータの再起動なしに行えます。

2 赤外線ポート(IrDA) (特定のモデルのみ)

赤外線(IrDA)通信ポートでは、赤外線を搭載したデバイスやコンピュータと最高4 Mbits/秒の速度で、便利なワイヤレスデータ通信を行うことを可能にしています。これにより、PDAや携帯電話、さらにはプリンタへのワイヤレス印刷と簡単にワイヤレス同期を行うことができます。職場でIrDAネットワーキングをサポートしている場合、IrDAノードにラインが直接引かれていれば、どこにいてもネットワークにワイヤレス接続ができます。 小規模事業所では、IrDAテクノロジを使用して数台の並べて置いたノートブックPCの間でプリンタを共有したり、ネットワークを介さずに互いにファイルを送信することができます。

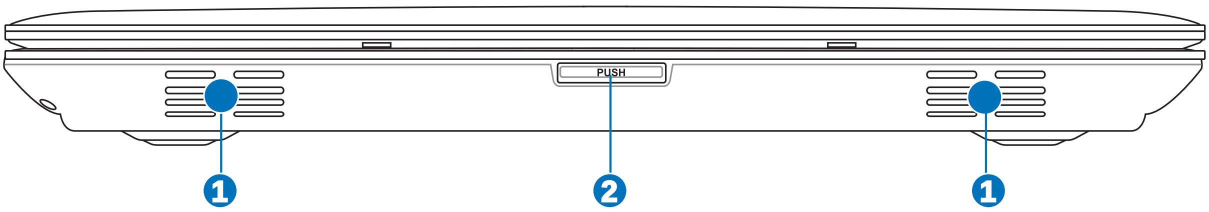
3 空気孔

クール空気を入れて、暖かい空気を排出することができます。

注意! 用紙、書籍、衣類、ケーブルまたはその他の物体が通気孔を塞いでいないことを確認してください。塞ぐと、ノートブックPCが過熱する原因となります。

前面

下の図を参照して、ノートブックPC前面のコンポーネントを確認してください。



1 ステレオスピーカー

内蔵のステレオスピーカーシステムにより、付属品を追加することなしに音楽をお楽しみいただけます。内蔵スピーカーでは、付属品を追加せずにオーディオを聞くことができます。マルチメディアサウンドシステムは統合されたデジタルオーディオコントローラを搭載し、豊かで、よく響くサウンドを作り出します（外部ステレオヘッドフォンやスピーカーにより向上した結果）。すべてのオーディオ機能は、ソフトウェアで制御されます。

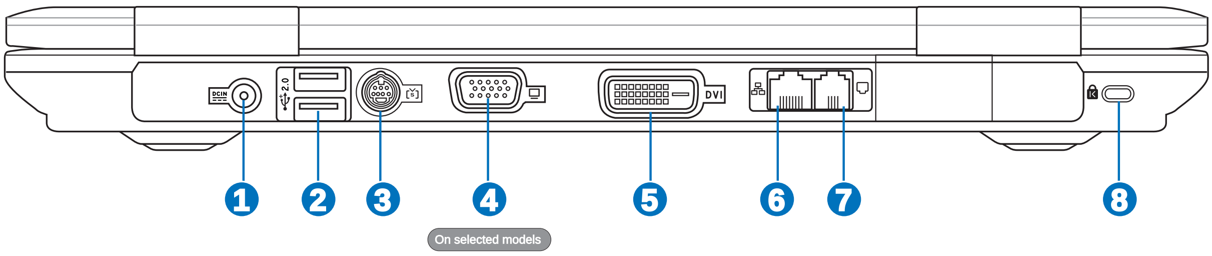
2 ディスプレイパネルボタン

押すとディスプレイパネルが開きます。

警告! ディスプレイパネルが開いているとき、テーブルに思い切り置かないでください。そうでないと、蝶番が壊れる可能性があります。ディスプレイパネルをつかんでノートブックPCを持ち上げないでください!

裏面

下の図を参照して、ノートブックPCの裏側のコンポーネントを確認してください。



1 DCIN 電源(DC)入力

付属の電源アダプタは、AC電源をDC電源に変換してこのジャックで使用できるようにするものです。このジャックから供給された電力はノートブックPCに電力を供給したり、内部の電池パックを充電します。ノートブックPCや電池パックが損傷しないように、常に付属の電源アダプタを使用するようにしてください。注意：アダプタは使用中に熱くなることがあります。物で覆ったり、人体に密着させないでください。

2 2.0 USBポート（2.0/1.1）

ユニバーサルシリアルバス(USB)はキーボード、ポインティングデバイス、ビデオカメラ、モデム、ハードディスクドライブ、プリンタ、モニタ、および12Mbits/秒 (USB 1.1) および480Mbits/秒 (USB 2.0)までのシリーズに接続されたスキャナなど、多くのUSB互換デバイスをサポートします。USBにより多くのデバイスを、追加のプラグインサイトやハブとして機能するUSBキーボードや一部の新しいモニタなどの周辺装置と共に、単一コンピュータ上で 同時に実行することができます。USBは、デバイスのホットスワップをサポートしているため周辺機器の接続と切り離しをコンピュータの再起動なしに行えます。

3 TV出力ポート

テレビ出力ポートはSビデオコネクタで、ノートブックPCのディスプレイをテレビまたはビデオ映写デバイスに経路指定することができます。同時または単一ディスプレイから選択することができます。高品質表示にはSビデオケーブル（別売）を、また標準のビデオデバイスには付属のRCA対Sビデオアダプタを使用してください。このポートは、NTSC とPAL形式をサポートします。

4 ディスプレイ(モニタ)出力

15ピンD-subモニタポートは、モニタやプロジェクタなどの標準のVGA互換デバイスをサポートし、外部大画面に表示することを可能にしています。

5 DVI-D ディスプレー(DVI-D) 出力（特定のモデルのみ）

DVI（Digital Video Interface）ポートは、フラットパネル液晶モニタやDVI対応デバイスへのビデオグラフィックス出力を伝達するポートです。

❻ LANポート

8ピンのRJ-45 LANポートはRJ-11モデムポートより大きく、標準のイーサネットケーブルをサポートしてローカルネットワークに接続しています。内蔵コネクタにより、アダプタを追加せずに簡単に使用することができます。

❼ モデムポート

2ピンのRJ-11モデムポートはRJ-45 LANポートより小さく、標準のモジュラーケーブルをサポートします。内部モデムは最大56KのV.90転送をサポートします。内蔵コネクタにより、アダプタを追加することなしに便利に使用することができます。

注意！内蔵モデムはデジタル電話システムで使用されている電圧をサポートしていません。デジタル電話システムにモデムポートを接続しないでください。そうでないと、ノートブックPCが損傷する可能性があります。

❽ Kensington® ロックポート

Kensington® ロックポートにより、Kensington® 互換ノートブックPCセキュリティ製品を使用して、ノートブックPCを固定することができます。これらのセキュリティ製品には通常メタルケーブルとロックが含まれ、固定された物体からノートブックPCを取り外せないようにしています。一部のセキュリティ製品には、モーションディテクタを組み込んで動かすとアラーム音がでるものもあります。

3. 使用の手引き

電源システム

AC電源を使用する

ノートPCの電源は、電源アダプタとバッテリの電源システムの2つの部分から構成されています。電源アダプタは、コンセントのAC電源をノートPCで必要とされるDC電源に変換します。ノートブックPCには、ユニバーサルAC-DCアダプタが付属しています。これは、スイッチを設定したり電源コンバータを使用することなしに、電源コードを任意の110V-120V および220V-240V コンセントに接続できることを意味します。国によっては、アダプタを使用して、付属の米国標準AC電源コードを異なる標準に接続することを要求する場合もあります。ほとんどのホテルでは、異なる電源コードと電圧をサポートするユニバーサルコンセントを装備しています。電源アダプタを他の国に持ち運ぶ場合は、ACコンセントの電圧について旅なれた友人にお聞きするようお勧めします。

ヒント: ノートブックPC用に、ほとんどの国で使用できる電源およびモデムアダプタを含むトラベルキットを購入することができます。

AC電源コードをAC-DCコンバータに接続するには、AC電源コードをACコンセントに接続し（サージ保護機能付が望ましい）、DCプラグをノートブックPCに接続します。DC電源をノートブックPCに接続する前に、まずAC-DCアダプタをACコンセントに接続することによって、ACコンセントの電源とAC-DCコンバータ本体の互換性問題を検査することができます。電源が許容範囲内にあると、アダプタの緑色の電源LEDが点灯します。

注意! 異なるアダプタを使用してノートブックＰ Ｃ に電力を供給したり、ノートブックPCのアダプタを使用して他の電気装置に電力を供給すると、損傷の原因となります。AC-DCアダプタから煙や燃える臭いが出たら、またはAC-DCが異常に熱くなったら、修理に出してください。不正なAC-DCアダプタを使用すると、バッテリパックとノートブックPCが損傷する原因となります。

注: 本ノートブックPCには、地域によって2芯または3芯のプラグが付属しています。3芯プラグが付属している場合、アースされたACコンセントまたは適切にアースされたアダプタを使用してノートブックPCの安全な操作を確保する必要があります。

警告：電源アダプタは使用中に熱くなることがあります。物で覆ったり、人体に密着させないでください。

バッテリパックを使用する

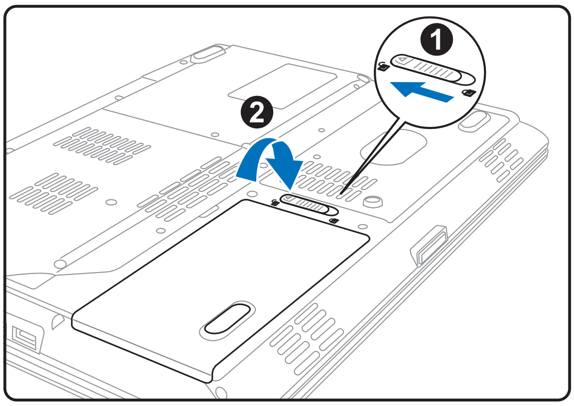
ノートPCは取り外し可能バッテリパックで作動するように設計されています。バッテリパックは組み込まれた1セットのバッテリセルから成っています。完全に充電されたパックには数時間の寿命がありますが、BIOSセットアップを通した電源管理機能を使用してさらに寿命を延ばすことができます。追加バッテリパックはオプションで、ノートPCの販売店から別個お求めください。

バッテリパックの取り付けと取り外し

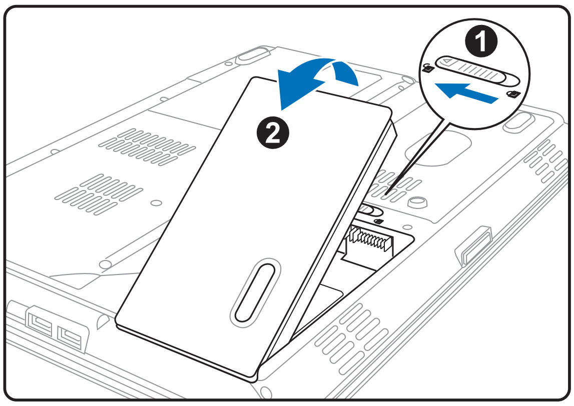
お求めのノートブックPC には、バッテリパックが取付けている場合と取付けていない場合があります。ノートブックPC にバッテリパックが取付けられていない場合。次の手順に従って、バッテリパックの取り付けまたは取り外しを行ってください。

注意! ノートブックＰＣの電源をオンにしている間はバッテリパックを絶対に取り外さないでください。作業データが失われる原因となります。

バッテリパックの取付け方法:



バッテリパックの取り外し方法:



注意! バッテリパックと電源アダプタは、本ノートブックPCに付属するもの、または本モデル用にメーカーや販売店が特別に認証したもののみ使用してください。

電池パックの充電

外出先でノートブックPCを使用する前に、バッテリパックを充電する必要があります。電源アダプタを使用してノートPCを外部電源に接続すると、バッテリパックは直ちに充電を開始します。初めてご使用になる前に、バッテリパックを完全に充電してください。ノートブックPCを外部電源から取り外す前に、新しいバッテリパックを完全に充電する必要があります。完全に充電するまでに、ノートブックPCの電源をオフにしているときは2～3時間かかり、オンにしているときはその倍の時間がかかります。バッテリパックの充電が完了すると、バッテリの充電ランプはオフになります。

ノートブックPCの電源をオンにする

電源をオンにすると、ノートブックPCの電源オンメッセージがスクリーンに表示されます。必要に応じ、ホットキーを使用して輝度を調節することができます。システム構成を設定または修正するためにBIOSセットアップを実行する必要がある場合、起動時に[F2]を押してBIOSセットアップに入ります。スプラッシュスクリーンの間に[Tab]を押すと、BIOSバージョンなどの標準の起動情報が表示されます。[ESC]を押すと、利用可能なデバイスから起動するための選択とともに、起動メニューが表示されます。

注意! ハードディスクドライブを保護するために、ノートブックPCの電源をオフにした後、再びオンにする前に5秒お待ちください。

注: 起動する前に、電源をオンにするとディスプレイパネルが点滅します。これは、ノートブックPCのテストルーチンの一部で、ディスプレイの故障ではありません。

パワーオンセルフテスト(POST)

ノートブックPCの電源をオンにすると、パワーオンセルフテスト(POST)と呼ばれる一連のソフトウェア制御の診断テストが実行されます。POSTを制御するソフトウェアは、ノートブックPCアーキテクチャの固定部分としてインストールされています。POSTには、ノートブックPCのハードウェア構成に関する記録が含まれており、システムの診断チェックを行うために使用されます。この記録は、BIOSセットアッププログラムを使用することによって作成されます。POSTが記録と既存のハードウェア間の相違を発見すると、BIOSセットアップを実行することによって、競合を訂正するように要求するメッセージがスクリーンに表示されます。ほとんどの場合、ノートブックPCをお求めになったときに記録を訂正する必要があります。テストが完了すると、ハードディスクにオペレーティングシステムが事前ロードされていない場合、「オペレーティングシステムが見つかりません」というメッセージが表示されます。これは、ハードディスクが正しく検出され、新しいオペレーティングシステムをインストールする準備ができたことを示します。

S.M.A.R.T. (Self Monitoring and Reporting Technology)はPOST中にハードディスクドライブをチェックし、ハードディスクドライブを修理する必要がある場合、警告メッセージを表示します。起動中に重要なハードディスクドライブの警告が表示されたら、データを直ちにバックアップしWindowsディスクチェックプログラムを実行してください。Windowsのディスクチェックプログラムを実行するには、(1)[マイコンピュータ] で任意のハードディスクドライブのアイコンを右クリックし、(2) [プロパティ] を選択し、(3) [ツール] タブをクリックし、(4) [今チェックする] をクリックし、(5)ハードディスクドライブを選択し、(6) [完全] を選択して物理的損傷もチェックし、(7)[スタート]をクリックします。SymantecのNorton Disk Doctorなどのサードパーティのディスクユーティリティは同じ機能を実行しますが、使いやすさと機能において勝っています。

注意! ディスクチェックユーティリティのソフトウェアを実行した後にも、起動中にメッセージが表示される場合、ノートブックＰＣを修理に出す必要があります。そのまま使用すると、データが失われることがあります。

バッテリパワーをチェックする

バッテリシステムにはWindows環境下でスマートバッテリ標準を実装し、バッテリの充電残量のパーセンテージを正確に報告できます。完全に充電されたバッテリパックを搭載したノートPCは、数時間の作動が可能です。しかし、実際の作動時間は省電力機能の選択の有無、一般的な作業慣習、CPU、システムメモリサイズ、ディスプレイパネルのサイズによって異なります。



マウスをバッテリアイコンの上に移動すると、バッテリ残量の情報が表示されます。

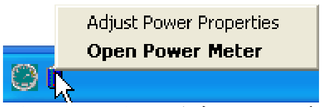
残っているバッテリパワーをチェックするには、カーソルを電源アイコンに移動します。バッテリアイコンは、AC電源をしようしていないときは「バッテリ」になり、AC電源を使用しているときは「プラグ」になります。詳細および設定については、アイコンをダブルクリックしてください。



AC電源が接続されているとき、充電ステータスが表示されます。

注: バッテリの残量が少なくなると警告が出ます。 バッテリ残量低下警告を無視すると、ノートブックPCはやがてサスペンド　モードに入ります（WindowsはデフォルトのSTRを使用します）。

注；スクリーンキャプチャは一例です。システムにより実際とは異なることがあります。



バッテリアイコンを右クリックすると、サブメニューが表示されます。



バッテリアイコンを左クリックすると、電源管理設定が表示されます。

警告! バッテリパワーを使い切ると、サスペンドトゥラム(STR)は長く続きません。 サスペンドトゥディスク(STD)は電源オフと同じではありません。STDはわずかな量の電力を必要とし、バッテリを完全に使い切ったり電源供給がない（例、電源アダプタとバッテリパックを同時に取り外す）などの理由で電力が利用できないと、機能しません。

バッテリの手入れ



ノートブックPCのバッテリパックは、全ての再充電可能なバッテリ同様、再充電できる回数に限りがあります。バッテリは毎日一回の全放電/全充電をしても1年以上もちますが、どれくらい持つかは環境温度、湿度、およびノートブックPCの使い方によって異なります。理想的なバッテリの操作温度範囲は10°C から29°C までです。ノートブックPCの内部温度は外部温度より高くなることを考慮に入れる必要もあります。この範囲外の温度で使用すると、バッテリの寿命は短くなります。しかし、いずれにせよ、バッテリパックの作動時間はいつかは短くなり、新しいバッテリパックをこのノートブックPCの公認代理店からご購入しなければなりません。また、バッテリにはシェルの寿命もあるので、予備の バッテリをお求めになることはお勧めしません。

注:　温度が高すぎると、またはバッテリ電圧が高すぎると、バッテリは充電を停止します。BIOSはスマートバッテリリフレッシング機能を提供します。

警告：バッテリは常に放電しています。長時間使用しないときは、劣化を防ぐため最低３ヶ月に一度充電してください。

再起動



(画面は、セキュリティ設定によって異なります)。

オペレーティングシステムを変更した後、システムを再起動するように求められます。一部のインストール手順は、再起動を可能にするダイアログボックスを提供します。システムを手動で再起動する方法、[スタート] ボタンをクリックし、［シャットダウン］｜［再起動］を選択します。

ノートブックPCの電源をオフにする



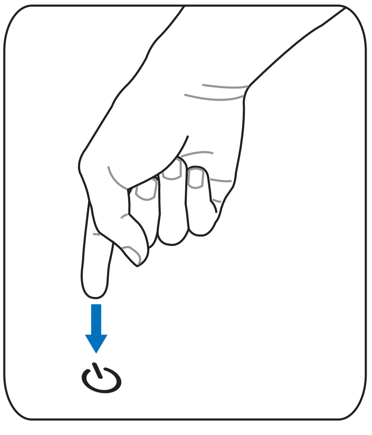
Windows XPでは、Windowsの[スタート]ボタンを選択し、[電源を切る](または[停止])をポイントします。適切な電源管理を持たないOS(DOS, Windows NT)の場合は、アプリケーションと既存のOSを終了させてから電源スイッチを2秒間押したままノートブックPCの電源をオフにする必要があります。電源スイッチを2秒間押すのは、偶発的に電源をオフにしてしまわないためです。

注意! ハードディスクドライブを保護するために、ノートブックPCの電源をオフにした後、再びオンにする前に5秒お待ちください。

緊急のシャットダウン

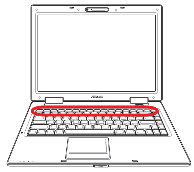
ご使用のOSが適切にオフにするか再起動できない時は、別に2つの方法でノートブックPCをシャットダウンする方法があります。

(1) 電源ボタン ⏻ を4秒以上押し続ける。



注意! データを書き込んでいる間緊急停止を使用しないでください。データが損傷したり、破損する原因となります。

特別なキーボード機能



彩色されたホットキー

次は、ノートブックPCのキーボードの彩色されたキーを定義します。彩色されたコマンドは、彩色されたコマンドを持つキーを押しながら、機能キーを押し下げることによってのみアクセスすることができます。

注: 機能キーのホットキーの位置はモデルによって異なりますが、機能は同じです。機能キーの代わりにアイコンに従ってください。

“Z” アイコン(F1): ノートブックPCをRAMに保存サスペンドモードにセットします。

ラジオタワー (F2): ワイヤレスモデルのみ : オンスクリーンディスプレイを使って、内部ワイヤレス LAN または Bluetooth (セレクトモデル) のオンとオフを切り替えます。オンにすると、対応するワイヤレスインジケータが点灯します。ワイヤレスLANとBluetoothを使用するためには、Windowsソフトウェアの設定が必要です。

ハードドライブ Zzアイコン (F4): ノートパソコンのハードディスクドライブをサスペンドモードにし、節電します。

黒塗りの太陽アイコン(F5):
ディスプレイの輝度を下げます

白抜きの太陽アイコン(F6):
ディスプレイの輝度を上げます

LCDアイコン(F7): ディスプレイパネルのオン/オフを切り替えます。このアイコンはまたスクリーン領域を広げて（一部のモデル）、低解像度モードを使用しているとき、ディスプレイ全体を満たします。

LCD/モニタアイコン (F8): ノートブックPCの液晶ディスプレイとこのシリーズの外部モニタを次のように切り替えます: ノートブック PC LCD -> 外部モニタ -> 両方(この機能は256では作動しません。画面のプロパティ設定でHigh Color（ハイカラー）選択してください)。重要: ノートブックPCを起動する前に、外部モニタまたはTVを接続してください。Windowsの使用中に接続すると、正しく機能しないことがあります。

スピーカーアイコン (F10):
スピーカーのオン/オフを切り替えます(Windows OSのみ)

下向きスピーカーアイコン (F11):
スピーカーの音量を下げます(Windows OSのみ)

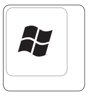
上向きスピーカーアイコン (F12):
スピーカーの音量を上げます(Windows OSのみ)

Num Lk (Ins): 数値キーパッド（数字ロック）のオン/オフを切り替えます。数字を入力する場合の、キーボードの大部分を使用できるようにします。

Scr Lk (Del): 「スクロールロック」のオン/オフを切り替えます。セルをナビゲーションする場合の、キーボードの大部分を使用できるようにします。

Microsoft Windows™キー

キーボードには、下で説明するように2つの特別なWindows™キーがあります。

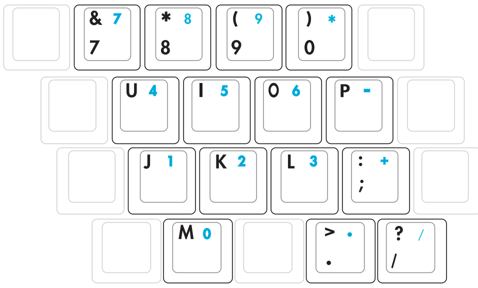


Windows™ロゴの付いたキーは、Windows™デスクトップの左下にある[スタート]メニューをアクティブにします。



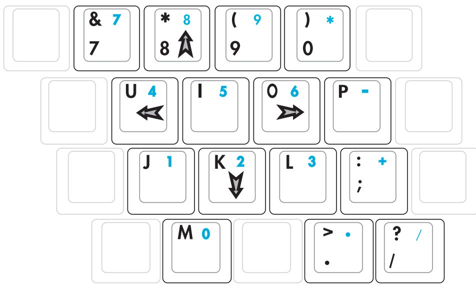
小さなカーソルの付いたWindows™メニューのように見える他のキーはプロパティメニューをアクティブにし、Windows™オブジェクトの右マウスボタンを押すことと同じ働きをします。

数値キーパッドとしてのキーボード



数値キーパッドはキーボードに埋め込まれて1 5 のキーからなり、頻繁な数字入力を容易にしています。これらのデュアル目的キーは、キー キャップにオレンジ色のラベルで示されています。数字の割り当ては、図に示すようにそれぞれのキーの右上隅に記してあります。[Fn][Ins/Num LK] を押すことによって数値キーパッドを有効にしているとき、数字ロックLEDが点灯します。外部キーボードを接続しているとき、外部キーボードの [Ins/Num LK] を押すことで両方のキーボードのNumLockの有効/無効を同時に切り替えることができます。外部キーボードのキーパッドをアクティブに保ちながら数値キーパッドを無効にするには、ノートブックPCの [Fn][Ins/Num LK] キーを押します。

カーソルとしてのキーボード



数値ロックがオンまたはオフになっている間、キーボードをカーソルとして使用すると、スプレッドシートまたは類似したアプリケーションに数値データを入力するときに、移動がぐんと容易になります。

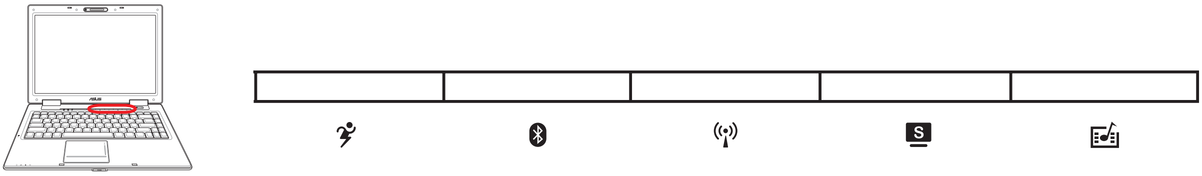
数字ロックをオフにしているときは、[Fn]と下に示すカーソルキーのどれかを押します。例えば、[Fn][8]は上に、[Fn][K]は下に、[Fn][U]は左に、[Fn][O]は右に移動します。

数字ロックをオンにしているときは、[Shift]と下に示すカーソルキーのどれかを使用します。例えば、[Shift][8]は上に、[Shift][K] は下に、[Shift][U] は左に、[Shift][O]は右に移動します。

注: 図の矢印記号は、参照のためのものです。実際のキーボードのラベルはこれとは異なることがあります。

スイッチとステータスインジケータ

スイッチ



Power4 Gear キー

Power4 Gear ボタンは、さまざまな省電力モードを切り替えます。省電力モードはノートブックPCの多くの側面を制御し、さまざまなイベントの間パフォーマンス対バッテリ時間を最大化します。

ACアダプタを使用しているとき、Power4 GearはAC電源モードセグメントで3つのモードを切り替えます。ACアダプタを取り外すとき、Power4 Gearはバッテリ(DC)モードセグメントで7つのモードを切り替えます。ACアダプタを取り外したり適用するとき、Power4 Gear は自動的に上下に移動して適切なモードセグメント(ACまたはDC)に入ります。

タスクバーアイコン								
モード名	最高パフォーマンス	高パフォーマンス	ゲームパフォーマンス	電子メール/Officeパフォーマンス	電子メール/Officeパフォーマンス	プレゼンパフォーマンス	オーディオリスニングパフォーマンス	バッテリセービングパフォーマンス
電源セグメント	AC	AC/DC	AC/DC	DC	DC	DC	DC	DC

Bluetoothキー

このボタンを押すと、ノートブックPCの内蔵Bluetooth機能の有効/無効が切り替わります。Bluetoothが有効になると、ステータスインジケータが点灯してそのことを示します。

ワイヤレス LAN キー

このボタンは、ワイヤレス LAN (WLAN)を内蔵するモデルでのみ適用可能です。1度押すとWLAN機能が有効になり、もう1度押すと無効になります(Windowsのソフトウェア設定が必要です)。

Splendid キー（特定モデルのみ）

「Splendid」機能を切り替えます。コントラストや明るさ、肌の質感、彩度（赤、青、緑を個別に調節）の調節をこのキーで切り替えます。現在使用中のモードは、OSD機能（On-Screen Display ）で確認できます。

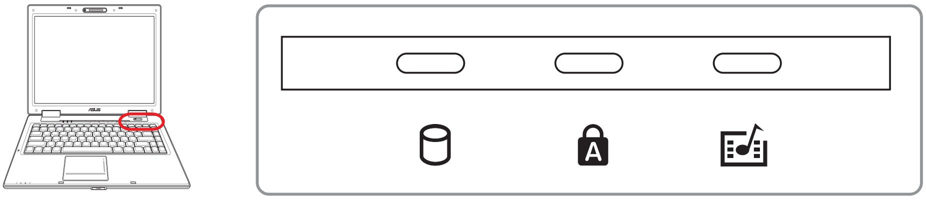
インスタントオン・キー

ノートパソコンがオフの時：このボタンを押すと、Windows を起動せずにマルチメディアプレーヤーアプリケーションが起動できます。DVDや VCD、 動画、画像、TV番組、CD などをお楽しみください。

ノートパソコンがオンの時： このボタンを押すと、Windows 環境でマルチメディアプレーヤーアプリケーションを起動します。

ステータスインジケータ

キーボードの上



ドライブアクティビティインジケータ

ノートブックPCがハードディスクなどの1つまたは複数の記憶装置にアクセスしていることを示します。ランプはアクセス時間に比例して点滅します。

キャップスロック・インジケータ

ランプが付いているとき、キャップスロック [Caps Lock] がアクティブになっていることを示します。キャップスロックによって、キャップス（例、A、B、C）を使用して一部のキーボード文字を入力できるようになります。キャップスロックのランプがオフになっているとき、入力された文字は小文字（例、a、b、c）になります。

インスタントオン・インジケータ:インスタントオン・インジケータ

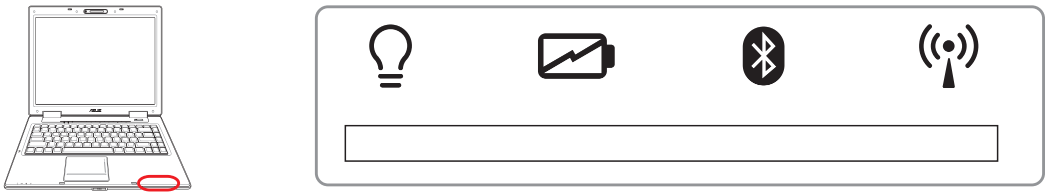
ノートパソコンがインスタントオン・モードの時に点灯します。

Windows OS : NumLock インジケータ

ナンバーロック [Num Lk]機能が有効のときに点灯します。NumLock は特定の文字キーをナンバーキーとして使用する機能です。

ステータスインジケータ

フロントエッジ



電源インジケータ

緑色のLEDが点灯すると、ノートブックPCの電源がオンになっていることを示し、ノートブックPCがサスペンドトゥラム（スタンバイ）モードになっているときは点滅します。このLEDは、ノートブックPCがオフまたはサスペンドトゥディスク（ハイバ-ネーション）モードになっているときオフになります。

バッテリ充電インジケータ

バッテリ充電インジケータは、次のようにバッテリの電源のステータスを示します。

オン：電源がオンまたはオフになっているとき - AC電源を接続すると、ノートPCのバッテリが充電されます。

オフ：ノートブックPCのバッテリ残量が完全になくなりました。

点滅：電源がオンになっているとき - バッテリ残量は10%以下で、ACアダプタが接続されていません。

Bluetooth インジケータ

このボタンはBluetooth (BT)搭載のモデル専用です。 Bluetooth インジケータが点灯している場合、ノートパソコンに搭載されている Bluetooth 機能がアクティブなことを示します。

ワイヤレスインジケータ

このボタンはワイヤレス LANとBluetooth (BT)搭載のモデル専用です。有効になっていると、このインジケータが点灯します。(Windows ソフトウェアの設定は必要です。)

4. ノートブックPCを使用する

OS オペレーティングシステム

本ノートブックPCのオペレーティングシステムとして、プレインストールされたMicrosoft Windows XP から選択することができます。選択できるオペレーティングシステムと言語は地域によって異なります。ハードウェアとソフトウェアのサポートのレベルは、インストールされているオペレーティングによって異なります。他のオペレーティングシステムの安定性と互換性は保証できません。

ソフトウェアのサポート

本ノートブックPCにはBIOS、ドライバ、アプリケーションの含まれたサポートCDが付属しており、ノートブックPCのハードウェア特性を有効にし、機能を拡張し、管理を容易にし、さらにはネーティブのオペレーティングシステムで提供していない機能を追加しています。サポートCDの更新や交換が必要になった場合、代理店に連絡してWebサイトから個別のソフトウェアドライバやユーティリティをダウンロードしてください。

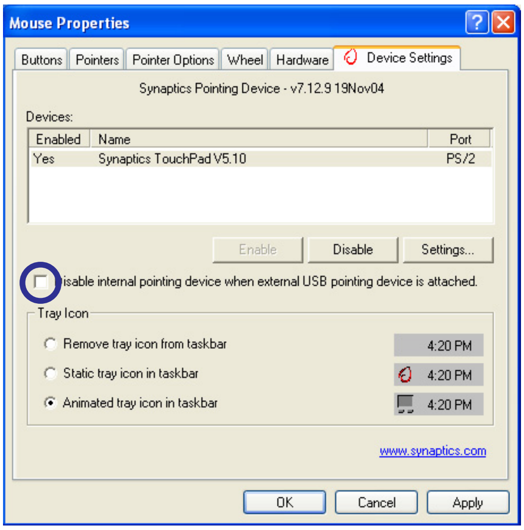
サポートCDには、プレインストールされたものも含め、一般的な全てのオペレーティングシステム用のドライバ、ユーティリティ、ソフトウェアが残らず含まれています。サポートCDには、オペレーティングシステム本体は含まれていません。出荷時プリインストールの一部として含まれていない追加ソフトウェアを提供するために、ノートブックPCが事前構成されている場合でも、サポートCDは必要となります。

リカバリCDはオプションであり、出荷時にハードドライブにインストールされたオリジナルのオペレーティングシステムの画像が含まれています。リカバリCDは包括的な回復ソリューションを提供し、ハードディスクドライブが良好な作動状態であれば、ノートブックPCのオペレーティングシステムをオリジナルの作動状態をすばやく復元します。そのようなソリューションが必要になったときは、販売店にお問い合わせください。

注：ノートPCのコンポーネントと機能の一部は、デバイスドライバとユーティリティをインストールするまで作動しないことがあります。

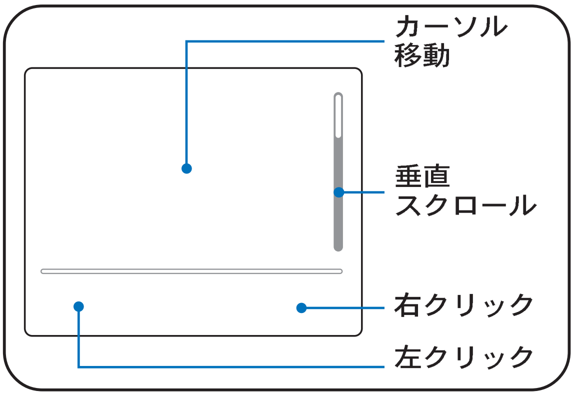
Napa チップセット搭載モデル

Napaチップセットを搭載したノートPCモデルでは、外部USBマウスを取り付けるとノートブックPCのタッチパッドを自動的に無効にします。この機能を[オフ]にするには、Windowsのコントロールパネル - マウスプロパティ - デバイス設定でこのオプションの選択を解除します。



ポインティングデバイス

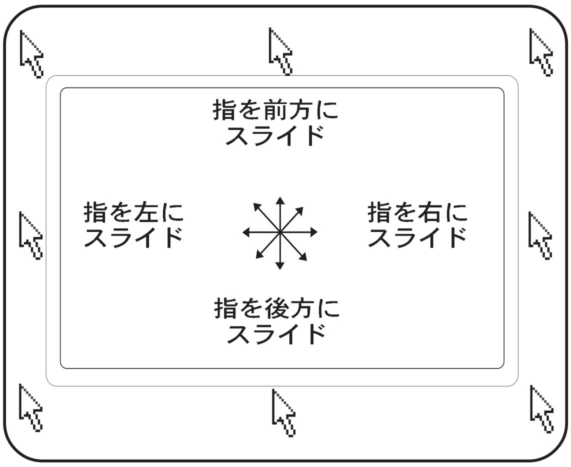
ノートブックPCに組み込まれたタッチパッドポインティングデバイスは2/3ボタンおよびスクローリングノブPS/2マウスと完全な互換性があります。タッチパッドは感圧性で稼動部分が含まれていないため、機械が故障することはありません。一部のアプリケーションソフトウェアで作動させるためには、デバイスドライバが必要となります。



注意！タッチパッドの操作には、指以外のオブジェクトなどを使用しないでください。タッチパッドの表面を着続ける恐れがあります。

タッチパッドを使用する

タッチパッドの操作に必要なのは、指先で軽く触れることだけです。タッチパッドは静電気に敏感に反応するため、指の変わりに物体を使用することはできません。タッチパッドの主な機能は、標準のデスクトップマウスの代わりに指先を使用して、カーソルを移動したり画面に表示された項目を選択することです。次の図は、タッチパッドの適切な使用を説明しています。

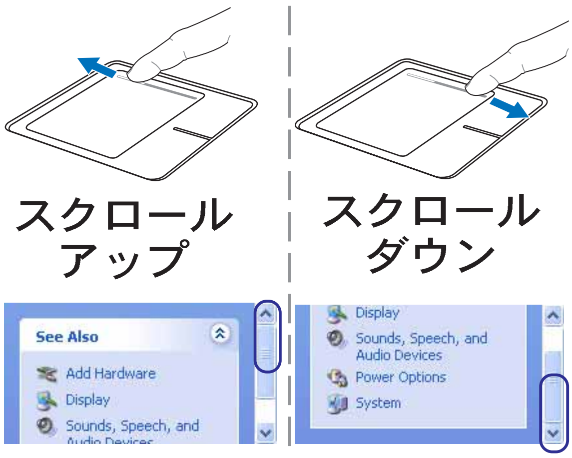


カーソルの移動

タッチパッドの中央に指を置き、指をスライドさせてカーソルを動かします。

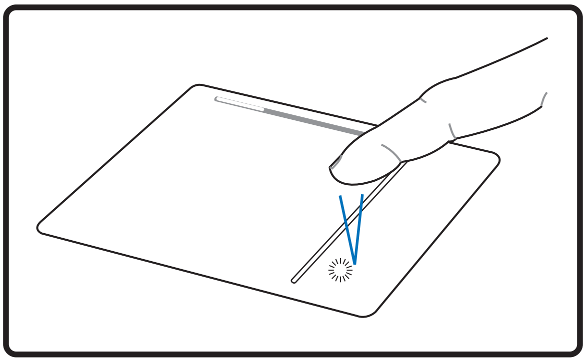
スクローリング （特定のモデルのみ）

指を右側で上下にスライドさせると、ウィンドウが上下にスクロールします。



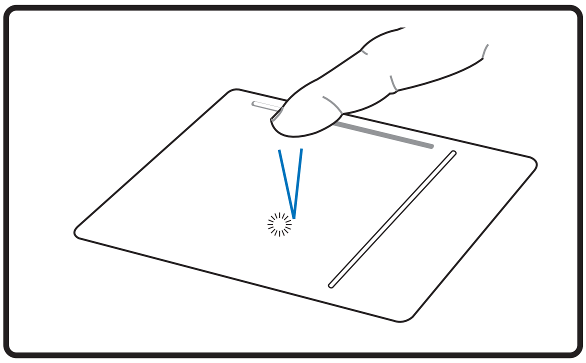
タッチパッド使用法の図

クリック/タップ - カーソルをアイテムの上に置いて、左ボタンを押すか、指先を使用してタッチパッドに軽く触れながら、アイテムが選択されるまでタッチパッドに指を置いたままにします。選択されたアイテムの色が変わります。次の2つの例は、同じ結果を生じます。



クリック

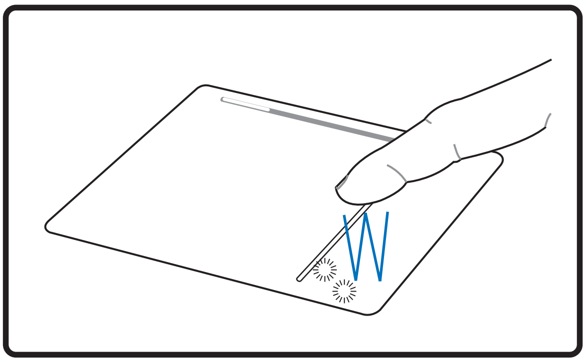
(左カーソルのボタンを押して離します)



タップ

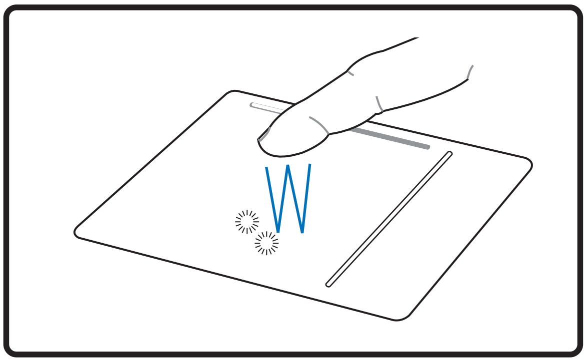
(タッチパッドに軽くしかし素早く打ちます)

ダブルクリック/ダブルタップ - これは、選択された対応するアイコンから直接プログラムを起動するための共通スキルです。カーソルを実行するアイコンの上に移動し、続けざまに素早く左ボタンを2度押すか、またはパッドを2度タップすると、システムは対応するプログラムを起動します。クリックまたはタップの間隔が長すぎると、操作は実行されません。Windowsのコントロールパネルの [マウス] を使用してダブルクリックの速度を設定することができます。次の2つの例は、同じ結果を生じます。



ダブルクリック

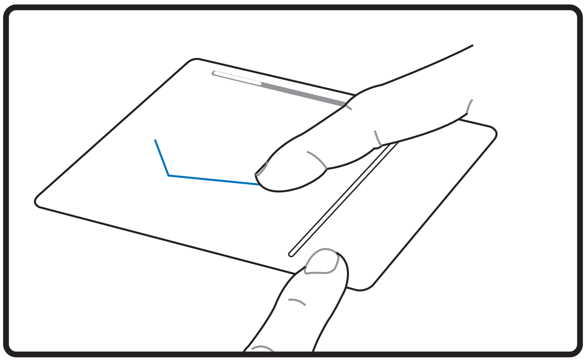
(左 ボタンを2ど押して離します)



ダブルタップ

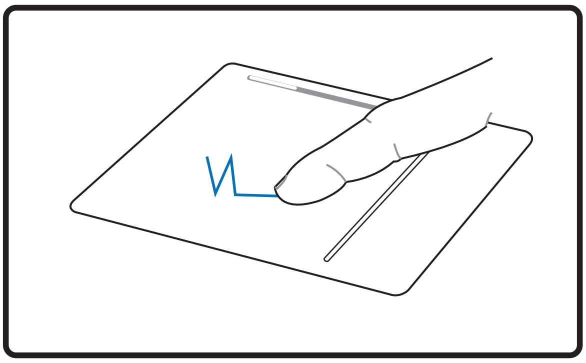
(タッチパッドを軽く、しかし素早く2度打ちます)

ドラッグ　-　ドラッグとは、アイテムをピックアップし、それを画面の希望する位置に置くことを意味します。選択したアイテムの上にカーソルを移動し、左ボタンを押し下げたまま、カーソルを望みの位置に移動したら、ボタンを離します。または、アイテムをダブルタップし、指先でアイテムを抑えたままドラッグすることもできます。次の2 つの例は、同じ結果を生じます。



ドラッグクリック

(左ボタンを抑えたまま、タッチパッド上で指をスライドさせます)



ドラッグタブ

(タッチパッドを2度軽く打ち、2度目を打つときにタッチパッドの上で指をスライドさせます)

注:　付属のタッチパッドユーティリティをセットアップするとソフトウェアのコントロールスクロール機能が使用可能になり、WindowsやWebを簡単にナビゲートできるようになります。基本機能をWindowsのコントロールパネルで調整すると、クリックとタップを快適に行えます。

タッチパッドの手入れ

タッチパッドは感圧式です。適切な手入れを行わないと、すぐに損傷します。次の注意事項をお守りください。

・タッチパッドに埃、液体、グリースが付着していないことを確認する。
・汚れていたり濡れている指でタッチパッドに触れない。
・タッチパッドやタッチパッドのボタンに、重い物体を置かない。
・指の爪や硬い物体でタッチパッドをひっかかない。

注:タッチパッドは力ではなく動きに応答します。表面を強くタップする必要はありません。強くタップしてもタッチパッドの応答性は増しません。タッチパッドは軽い圧力にもっとも良く応答します。

記憶装置

ストレージデバイスにより、ノートブックPCは文書や画像、その他のファイルをさまざまなデータ記憶装置に書き込んだり読み込んだりすることができます。

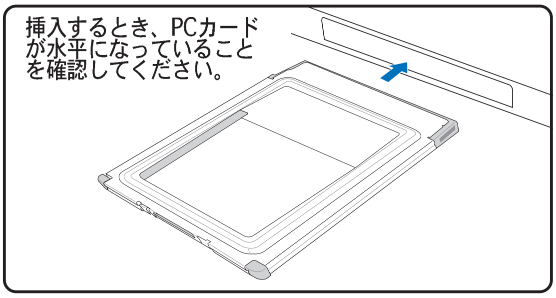
- PCカード
- 光学ドライブ
- フラッシュメモリリーダー
- ハードディスクドライブ

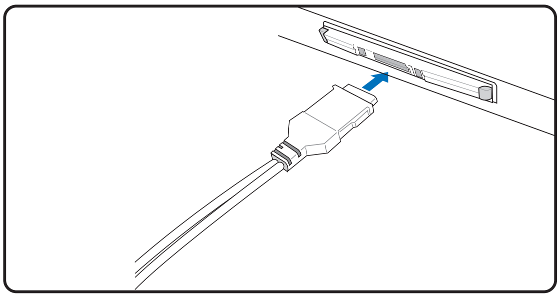
ExpressCard

26ピン Express カードスロットが ExpressCard/34mm(1枚)と ExpressCard/54mm 拡張カード(1枚)に対応しています。この新型インターフェースは、PC カードスロットに使用されている旧型のパラレルバスではなく、USB 2.0 とPCI Express 対応のシリアルバスを使用することで高速化を実現しました。(旧型のPCMCIA カードには非対応)



ExpressCard を挿入する

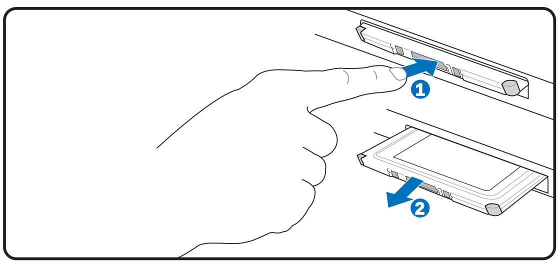




1. ExpressCard ソケットプロテクターがある場合は、下の取り外し方を参照し、取り外します。
2. 表示が上になるようコネクタのある方から ExpressCard を挿入します。標準の ExpressCards は完全に挿入すると、ノートパソコンにぴったり収まります。
3. ExpressCardに必要なケーブル、アダプタを接続します。一般的にコネクタは一方向にしか接続できません。ステッカーやアイコンなどの表示をご確認ください。

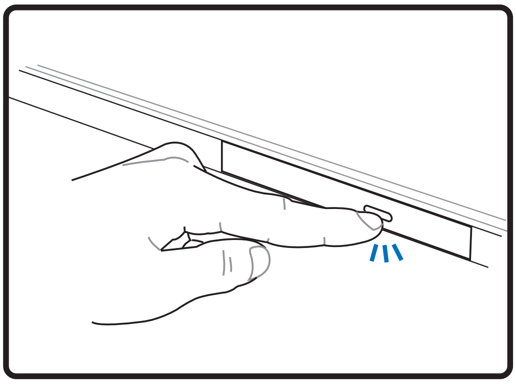
ExpressCard を取り外す

ExpressCard スロットには取り出しボタンがありません。ExpressCard を内側に1度押すと一部が外に押し出されますので、ゆっくり引き出して下さい。

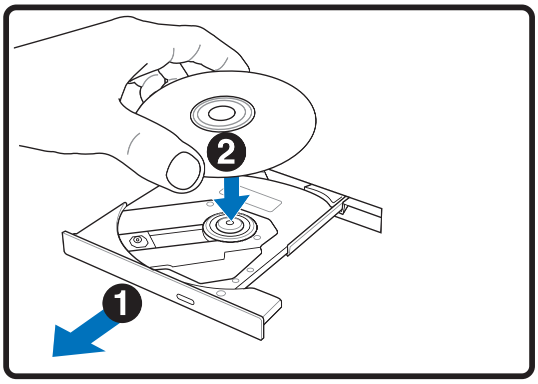


光学ドライブ

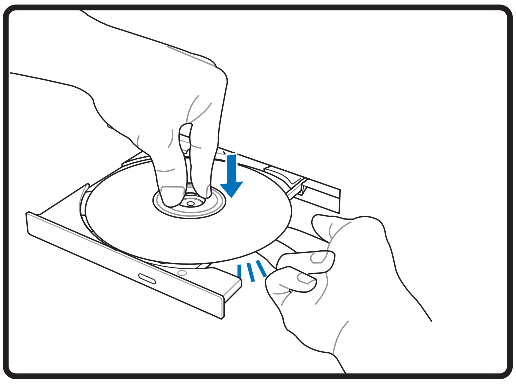
光学ディスクを挿入する



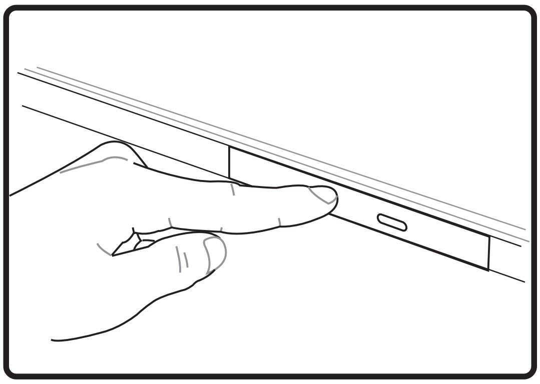
1．ノートブックPCの電源をオンにしたまま、ドライブのエジェクトボタンを押すとトレイが半分ほど出てきます。



2. ドライブのフロントパネルをそっと引っ張りながらながら、トレイをスライドさせて完全に出します。光学ドライブのレンズや他の機械部分には触れないように注意してください。ドライブのトレイの下に邪魔になる物体がないことを確認してください。



3. ディスクの端を持ちディスクの印刷された面を上に向けます。ディスク中央部の両端がハブにパチンと留まるまで押します。正しく取付けられると、ハブはディスクより高くなります。

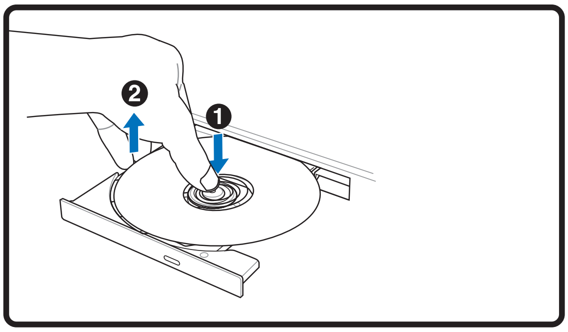


4. ドライブのトレイをゆっくり元に戻します。ドライブはディスクのコンテンツ(TOC)のテーブルの読み込みを開始します。ドライブが停止したら、ディスクを使用できるようになりました。

注:データを読み込んでいる最中に、ディスクが光学ドライブで激しく回転する音が聞こえますが、これは通常の動作です。

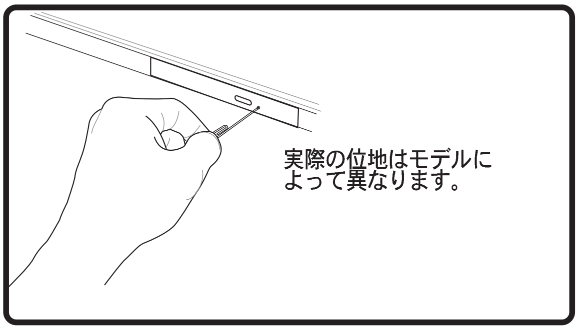
光学ドライブ(続き)

光学ディスクを取り外す



トレイが開き、ハブからディスクを取り出せます。

緊急イジェクト



緊急イジェクトは光学ドライブ上の穴の内部にあり、電子イジェクトでトレイが開かない場合に使用します。 緊急イジェクトは、電子イジェクトが機能しないときに使用します。注：緊急イジェクトの近くにあるアクティビティインジケータと間違わないでください。

光学ドライブを使用する

光学ディスクと装置は、精密な機械部分が含まれているため、注意して取り扱う必要があります。CD サプライヤの安全に関する重要な指示に留意してください。デスクトップの光学ドライブとは異なり、ノートブックPCはハブを使用して、角度に関わらずCDを所定の位置に保持しています。CDを挿入するとき、CDを中央ハブで抑えることは重要です。そうでないと、ドライブトレイがCDを傷付けることがあります。

警告！C D ディスクが中央ハブで適切にロックされていないと、トレイを閉じるときにC D が傷つくことがあります。損傷しないように、トレイをゆっくり閉じながら、CDから絶えず目を離さないようにしてください。

CDドライブの文字は、ドライブにCDディスクのあるなしに関わらず、必要となります。CDを正しく挿入すると、ハードディスクドライブと同じようにデータにアクセスすることができます。違うのは、CDにはいっさい書き込みや変更ができないという点です。適切なソフトウェアを使用すると、CD-RドライブまたはDVD+CD-RW ドライブはCD-RWディスク をハードドライブのように使用して、書き込み、削除、編集機能を実行できます。

アンバランスなCDまたはCD面の印刷物により、高速光学ドライブが振動することがよくあります。振動を抑えるために、平らな面でノートブックPCを使用し、CDにラベルを貼らないようにしてください。

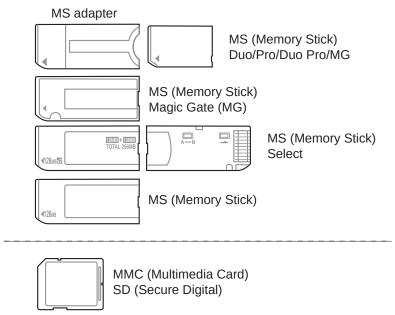
オーディオCDを聞く

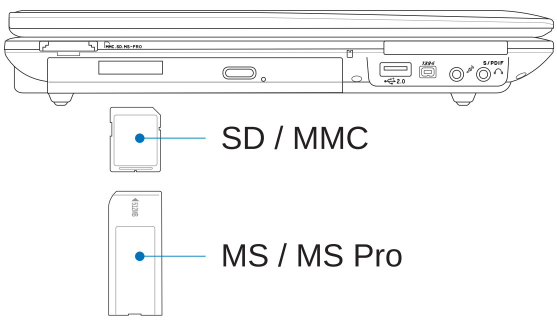
光学ドライブはオーディオCDを再生できますが、DVDオーディオを再生できるのはDVD-ROMドライブだけです。オーディオCDを挿入すると、Windows™がオーディオプレーヤーが自動的に開き、再生を開始します。DVDオーディオディスクとインストールされているソフトウェアによっては、DVDオーディオを聞くためにDVDプレーヤを開く必要があります。ホットキーまたはタスクバーのWindows™スピーカーアイコンを使用して、音量を調整することができます。

フラッシュメモリカードリーダー

通常、PCMCIAメモリカードリーダーは、デジタルカメラ、MP3プレーヤー、携帯電話、PDAなどのデバイスでメモリカードを使用するために、別個に購入する必要があります。このノートブックPCにはメモリカードリーダーが1基内蔵されており、次のフラッシュメモリカードを読み取ることができます：セキュリティデジタル(SD)、マルチメディアカード(MMC)、メモリスティック(MS)、メモリスティックセレクト(MS Select)、メモリスティックDuo(MS アダプタ付き)、メモリスティックPro、メモリスティックPro Duo (MS Proアダプタ付き)。メモリスティックは標準の場合と、MagicGateテクノロジを搭載している場合があります。内蔵のメモリカードリーダーは便利であるだけでなく、高いバンド幅のPCIバスを使用しているため、他のほとんどの形式のメモリカードリーダーより高速に作動します。

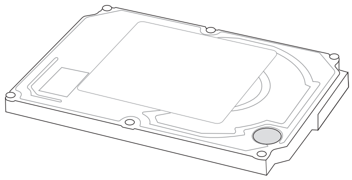
サポートされるメモリタイプ





注意！　データが削除されたり失われたりする恐れがありますので、データの読み込み、コピー、フォーマット、削除などの処理中および処理直後には、決してカードを取り外さないでください。

ハードディスクドライブ



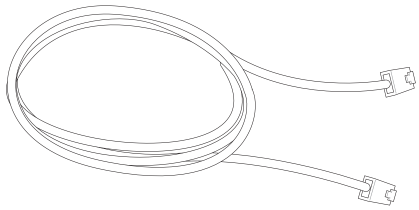
ハード ディスク ドライブは大容量なため、フロッピー ディスク ドライブや光ドライブよりも非常に高速で動作します。ノートパソコンには、取外し可能な幅 6.35 cm、高さ約 0.95 cm の IDE ハード ディスクドライブが搭載されています。最新の IDE ハードドライブでは、S.M.A.R.T. (セルフモニタリングおよびレポーティング技術) をサポートしており、ハードディスクに不具合や故障が生じる前に検知します。ハードドライブを交換、アップグレードする際は、お使いのノートパソコンの認定サービス センターまたは認定代理店に必ずご依頼ください。

注意！輸送中に誤った取り扱いをすると、ハードディスクドライブが損傷する原因となります。ノートブックPCは注意して取り扱い、静電気や強い振動や衝撃のある場所には近づけないでください。ハードディスクドライブはノートブックPCのもっともデリケートなコンポーネントで、ノートブックPCを落としたときに損傷する最初または唯一のコンポーネントです。

接続

注：内蔵モデムとネットワークはアップグレードできません。御購入後は、モデムまたはネットワークのアップグレードはPCカードを使用してください (PCMCIA)。

モデム接続



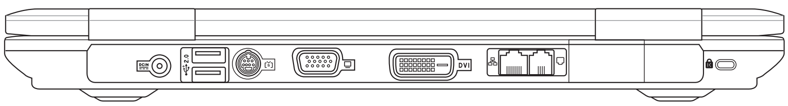
ノートブックPCの内部モデムに接続するために使用する電話線は2線または4線（モデムは2線（電話線#1）のみを使用）で、両端にRJ-11コネクタが付いている必要があります。一方の端をモデムポートに、もう一方の端をアナログ電話ジャック（住居用ビルにあるジャック）に接続します。ドライバのセットアップがすんだら、モデムを使用する準備が整いました。

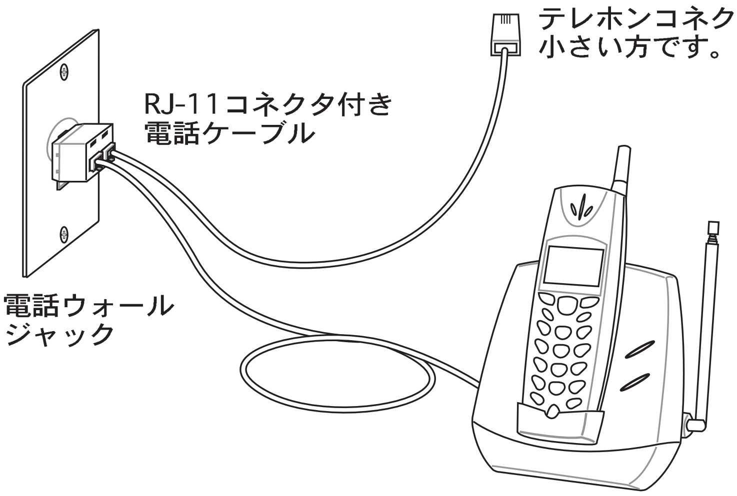
注:オンラインサービスに接続するとき、ノートブックPCをサスペンド（スリープ）モードにしないでください。モデム接続が切断される原因となります。

警告! アナログの電話ジャック口のみを使用してください。内蔵型のモデムでは、デジタル電話システムで使用されている電圧に対応していません。破損の原因になりますので、RJ-11のジャックは商業ビルなどに設置されているデジタル電話システムには接続しないでください。

注意! 電気的な安全上の注意として、電話ケーブルは、26AWG以上の規準のものを使用してください。（用語集を参照）

これは、内蔵モデムで使用するために電話線に接続されたノートブックPCの例です。



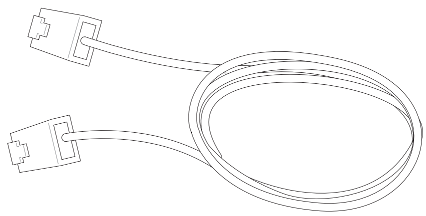


ネットワーク接続

RJ-45のコネクタを両端に使用して、一方をノートブックPC上のモデムまたはネットワークポートに、他方をハブまたはスイッチの末端にネットワークケーブルでつなぎます。100 BASE-TX / 1000 BASE-T速度の場合は、カテゴリ5 (カテゴリ 3 ではない) のネットワークケーブルとツイスト ペアのワイヤーが必要 す。100/1000 Mbps のインターフェイスで稼動する予定の場合は、100 BASE-TX / 1000 BASE-T ハブ (BASE-T4ハブではない) に接続する必要があります。10Base-Tの場合はカテゴリ 3 、 4 、または 5 のツイストペアワイヤーを使用します。10/100 Mbps Full-Duplex (全二重) はこのノートブック PC でサポートされていますが、「Duplex (二重)」を有効にして、ネットワークスイッチングハブに接続する必要があります。ソフトウェアのデフォルトは、ユーザーの介入を必要としない最速の設定が使用されています。

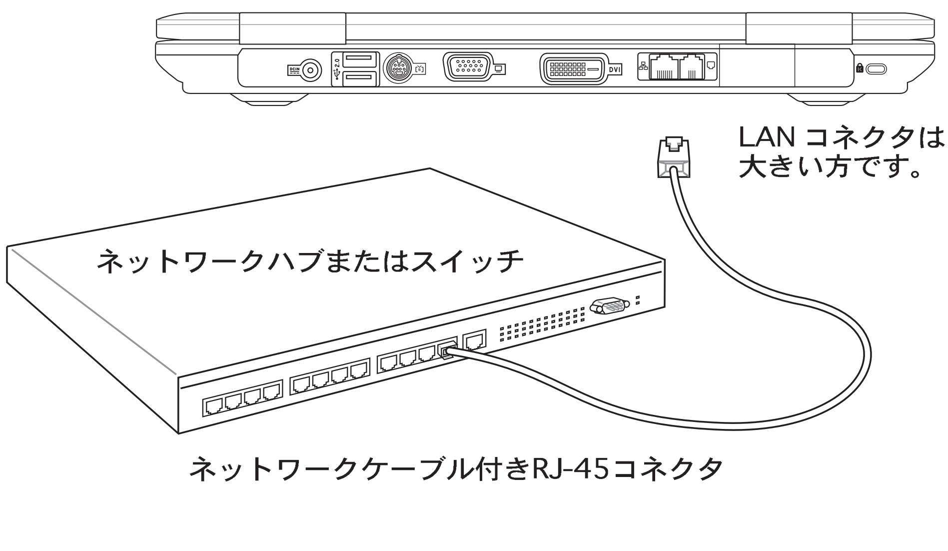
1000BASE- (またはギガビット) は、セレクトモデルのみでサポートしています。

ツイスト線ケーブル



イーサネットカードをホスト（一般には、ハブまたはスイッチ）に接続するために使用されるケーブルは、ストレートスルーツイストペアイーサネット(TPE)と呼ばれています。エンドコネクタはRJ-45コネクタと呼ばれ、RJ-11電話コネクタと互換性がありません。ハブを使わずに2台のコンピュータを接続している場合、クロスオーバーLANケーブルが必要になります(ファストイーサネット モデル) 。ギガビットモデルでは自動クロスオーバーをサポートしているため、クロスオーバー LAN ケーブルがオプションで必要です。

これは、ネットワークのハブまたはスイッチに接続されているノートブック PC と内臓イーサネットコントローラとを使用する際の例です。



無線LAN 接続(特定モデルのみ)

オプションの内蔵無線 LAN はコンパクト設計で管理しやすい無線Ethernet アダプタです。無線LAN (WLAN)対応のIIEEE 802.11 規格を採用し、周波数 2.4 GHz、 DSSS（Direct Sequence Spread Spectrum) とOFDM（Orthogonal Frequency Division Multiplexing) 技術で高速データ転送率を実現。また、IEEE 802.11 規格にも下位互換性があります。

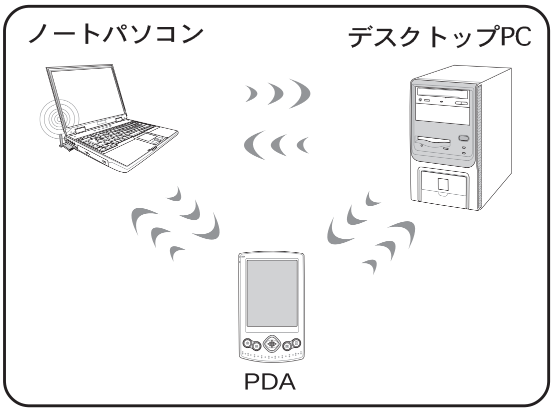
この内蔵無線 LAN はクライアントアダプタで、インフラストラクチャーモードとアドホックモード両方に対応。無線ネットワーク設定に幅がでます。アクセスポイントとクライアントの距離は最高40メートルです。

セキュリティをより効果的にするため、オプション内蔵無線LANには、64bit/128bit WEP（Wired Equivalent Privacy)暗号化方式とWPA（Wi-Fi Protected Access)機能が搭載されています。

アドホックモード

ノートパソコンを他の無線デバイスに接続できます。アクセスポイントは不要です。

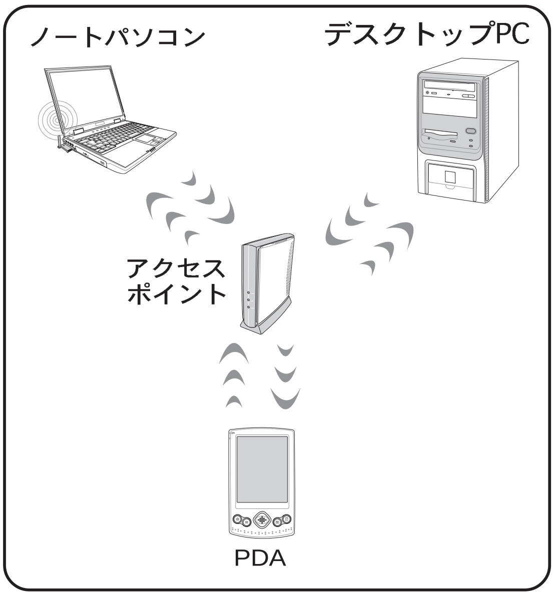
(全てのデバイスにオプションの 802.11 無線LANアダプタの取り付けが必要)



インフラストラクチャモード

ノートパソコンと他の無線デバイスをアクセスポイント（別売）で構築した無線ネットワークに加えることができます。無線クライアント用にセントラルリンクを提供し、無線ネットワーク同士または有線ネットワーク間のコミュニケーションが可能です。

(全てのデバイスにオプションの 802.11 無線LANアダプタの取り付けが必要)



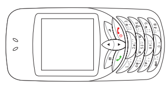
これらは無線ネットワークの一例です。

Bluetooth 無線接続（特定のモデルのみ）

Bluetooth テクノロジ搭載のノートパソコンは、Bluetooth 対応デバイスに接続するケーブルは不要です。（対応デバイス：ノートパソコン、デスクトップパソコン、携帯電話、PDA等）

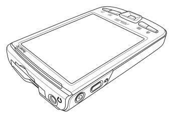
注：お使いのノートパソコンに Bluetooth 機能が搭載されていない場合は、USB または PC カード型の Bluetooth モジュールを使用してください。

Bluetooth 対応の携帯電話



無線接続が可能です。機種の仕様により、アドレス帳や画像、音声ファイルなどが転送できます。また、インターネット接続時のモデムとしても使用可能です。ショートメッセージも利用できます。

Bluetooth 対応のコンピュータ、PDA

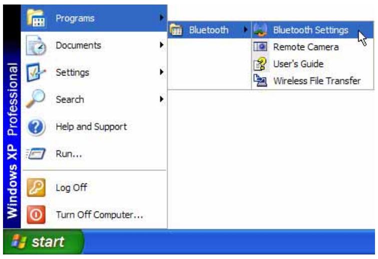


無線接続が可能です。ファイルの交換、周辺機器の共有、インターネットやネットワーク接続の共有が可能です。Bluetooth 対応の無線キーボードやマウスも利用できます。

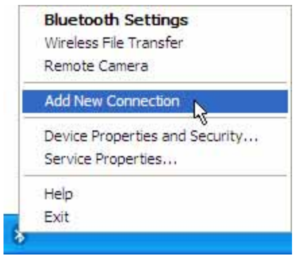
Bluetooth 対応デバイスとの組み合わせ



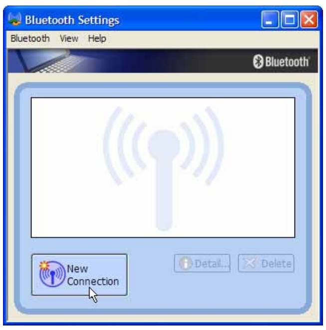
Bluetooth 対応デバイスの電源をオンにし、Windows のスタート→プログラム→Bluetooth で、Bluetooth Settings を選ぶか、タスクバーにアイコンがある場合は「Add New Connection」（新しい接続を追加）を選択します。



スタート→プログラム→Bluetooth →Bluetooth settings



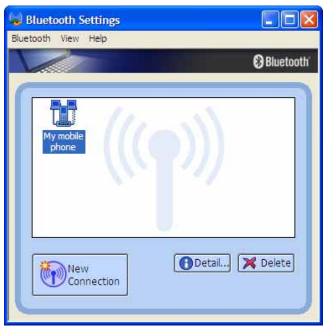
Bluetooth タスクバーアイコンから Add New Connection を選択



Bluetooth Settings からNew Connectionをクリック



ウィザードに従い Bluetooth デバイスを追加



完了すると、デバイスが表示されます

電源管理モード

ノートブックPCには多くの自動または調整可能省電力機能が搭載されており、バッテリの寿命を最大限に伸ばしたりトータルコストオブオーナーシップ(TCO)を削減するために使用できます。BIOSセットアップの [電源] メニューを通して、これらの機能の一部を制御できます。ACPI電源管理設定はオペレーティングシステムを通して行えます。電源管理機能は、コンポーネントを頻繁に低消費電力モードにしながら要求があり次第完全操作に入れるようにすることによって、可能な限り電力を節約できるように設計されています。これらの低パワーモードは「スタンバイ」（またはサスペンドトゥラム）および「ハイバーネーション」モードまたはサスペンドトゥディスク(STD)と呼ばれています。スタンバイモードはオペテーティングシステムが提供する単純な機能です。ノートブックＰＣがどちらかの省電力モードに入っているとき、ステータスは次のように表示されます:「スタンバイ」: 電源LEDの点滅および「ハイバーネーション」: 電源LEDオフ。

フルパワーモード & 最大パフォーマンス

ノートブックＰＣは、Windowsの電源管理とSpeedStepを構成することによって電源管理機能を無効に設定しているとき、フルパワーモードで作動します。ノートブックＰＣがフルパワーモードで動作しているとき、電源ＬＥＤはオンになっています。システムパフォーマンスと消費電力を意識している方は、全ての電源管理機能を無効にする代わりに、「最大パフォーマンス」を選択してください。

ACPI

拡張構成および電源インターフェイス(ACPI)はIntel、特にWindowsを後に電源管理とプラグアンドプレイ機能を制御するために、Microsoft、Toshibaが開発したものです。ACPIは、ノートブックＰＣ用の電源管理の新しい標準です。

注: APMはWindows NT4やWindows 98のような古いオペレーティングシステムで使用されていました。Windows XPやWindows 2000やWindows MEのような新しいオペレーティングシステムはＡＣＰＩを利用するため、APMはもはやこのノートブックPCを完全にサポートしていません。

サスペンドモード

「スタンバイ」(STR)と「ハイバーネーション」(STD)では、CPUクロックは停止しほとんどのノートブックPCデバイスは最低のアクティブ状態に入ります。サスペンドモードはノートブックPCの電源状態を最小にします。システムが一定の時間アイドル状態になっていると、または[Fn][F1]キーを手動で使用すると、ノートブックPCはサスペンドモードに入ります。ノートブックPCがSTRモードに入ると、電源LEDは点滅します。STDモードに入っていると、ノートブックPCは電源がオフになっているように見えます。キーボードの任意のボタン(Fnを除く)を押すと、STRから回復します。電源スイッチを使用すると、STDから回復します(ノートブックPCの電源をオンにする場合と同様)。

省電力

このモードはCPUクロックを下げるだけでなく、液晶ディスプレイのバックライトを含めたデバイスを低いアクティブ状態にします。システムが一定の時間アイドル状態になっていると、ノートブックPCは「スタンバイ」モード（低い優先順位）に入ります。タイムアウトはWindowsの電源管理（高い優先順位）を通して設定できます。システム操作を回復するには、どれかのキーを押します。

電源状態の概要

状態	イベントに入る	イベントから出る
「スタンバイ」	・ Windowsスタートボタンを通した「スタンバイ」 ・「電源管理」を通して設定されたタイマ Windowsのコントロールパネルで (高い優先順位)	・任意のデバイス ・低バッテリ
STR (「スタンバイ」) (サスペンドトゥラム)	・ホットキー [Fn][F1] --	・モデムポートからの信号 ・電源ボタン ・任意のキー
STD (「休止状態」) (サスペンドトゥディスク)	・ホットキー[Fn][F1] --	・電源ボタン --
ソフトオフ	・電源ボタン(STRまたはSTDとして定義可能) ・Windowsスタートボタンを通した「シャットダウン」	・電源ボタン

熱パワーコントロール

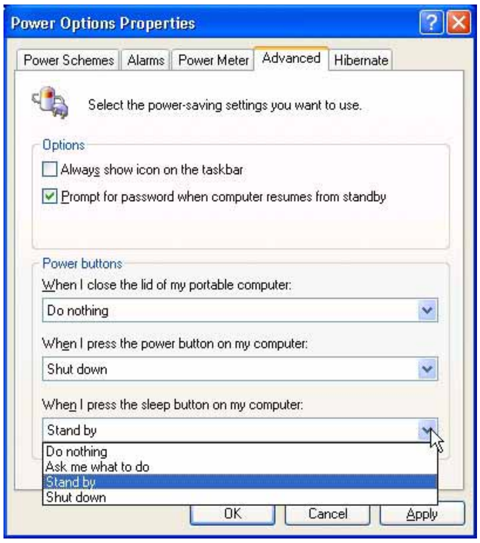
ノートブックPCの熱状態は、3つの電源コントロール方法によって制御されます。これらの電源コントロールはユーザーの側で構成することはできず、ノートブックPCがこれらの状態に入っていることしか分かりません。次の温度は（CPUではなく）シャーシ温度を表しています。

- 温度が安全の上限に達すると、ファンはオンになってアクティブ冷却を行います。
- 温度が安全の上限を超えると、CPUは速度を落としてパッシブ冷却を行います。
- 温度が安全の最大上限を超えると、システムはシャットダウンして臨界冷却を行います。

電源管理 - 「スタンバイ」 & 「休止状態」

電源管理設定はWindowsのコントロールパネルにあります。次は、Windowsの電源オプションを示しています。ディスプレイパネルを閉じたり、電源ボタンを押したり、スリープモードをアクティブにする際のオプションとして、「スタンバイ」または「シャットダウン」を定義することができます。「スタンバイ」と「休止状態」は、一部のコンポーネントをオフにすることによって、ノートブックＰＣを使用していないときに、電力を節約します。作業を再開するとき、最後の状態（例えば、半分ほどスクロールしたドキュメントや途中まで入力した電子メール）が作業を続けていたみたいに、再表示されます。「シャットダウン」は全てのアプリケーションを終了し、保存されていない作業を保存するかを尋ねるメッセージを表示します。

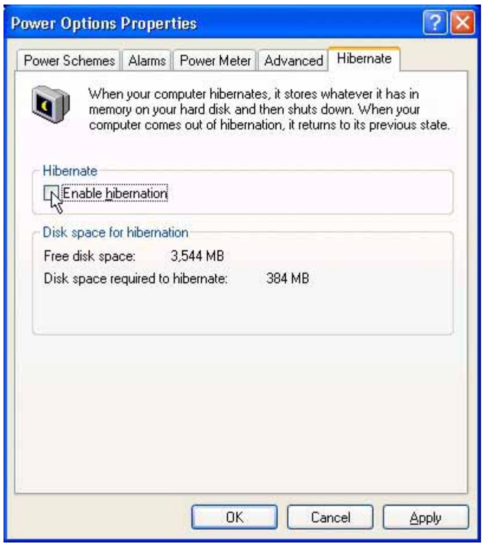
「スタンバイ」はサスペンドトゥラム(STR)と同じです。この機能は、多くのコンポーネントがオフになっている間、RAMに現在のデータと状態を保存します。RAMは揮発性であるため、データを維持（リフレッシュ）するには電力が必要です。操作方法: [スタート] | [シャットダウン]、[スタンバイ] を選択します。







「休止状態」はサスペンドトゥディスク(STD)に同じで、ハードディスクドライブに現在のデータと状態を保存します。このオプションによって、RAMを周期的にリフレッシュする必要がなくなり、消費電力は大幅に抑えられますが、LANやモデムのような一部の呼び起こしコンポーネントに電力を供給する必要があるため、完全にオフにはされません。「休止状態」は「スタンバイ」よりも多くの電力を保存します。操作方法: 「パワーオプション」で休止状態を有効にし、[スタート] | [シャットダウン]、 [休止状態] を選択します。







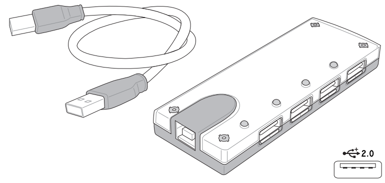
付録

A 付録

オプションのアクセサリ

これらのアイテムは、必要に応じて、ノートブックPCにオプションとして追加することができます。

USBハブ

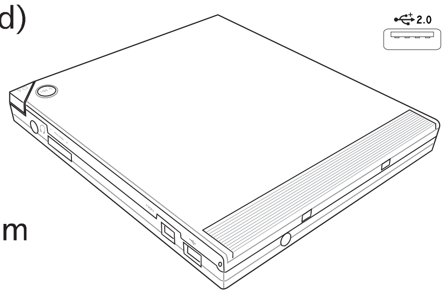


オプションのUSB ハブを接続するとUSBポートを追加し、1本のケーブルを通して多くのUSB周辺装置への接続/切り離しが簡単に行えるようになります。

USB 2.0スリム コンボ ドライブ

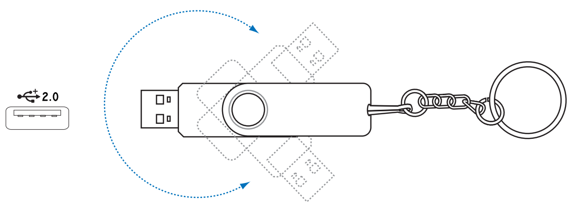
スリム コンボ ドライブは、FlextraLink（アンチ コースター技術）とFlextraSpeed（レコーディング技術）を特徴としています。この技術を採用すると、使用不可能なディスクへの書き込みを避けてCPUのロードを最小限に抑え、他のソフトウェアの書き込み中の操作が可能で、回転のノイズを減らすために振動を与える方式ではなく自動的に最適な記録速度を調節することができます。

- インターフェイス: USB 2.0
- データバッファ: 2MB (write), 512KB (read)
- ディスクサイズ: 12cm and 8cm
- DVD (読み込み): 8X max
- CD (読み込み): 24X max
- CD-R (書き込み): 24X, 20X, 16X, 8X, 4X
- CD-RW (書き込み): 12X, 10X, 8X, 4X, 2X
- 寸法: 16mm x 129mm x 142mm
- 重量: 250g
- 仕様は将来予告なしに変更する可能性があります。



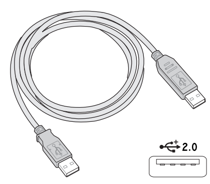
USBフラッシュメモリディスク

USB フラッシュメモリディスクはオプションのアイテムで、1.44MB フロッピーディスクにとって代わり、より高い転送速度と耐久性を実現しながら、数百メガバイトまでのデータを記憶することができます。現在のオペレーティングシステムで使用するとき、ドライバは必要ありません。



USB通信ケーブル

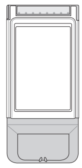
USB ポートを通して各コンピュータをオプションのUSB通信ケ-ブルで接続すると、ノートブックPC、デスクトップPC、またはその両方の組み合わせに関わらず、コンピュータ間の基本のファイル転送機能が可能になります。



オプションのアクセサリ(続き)

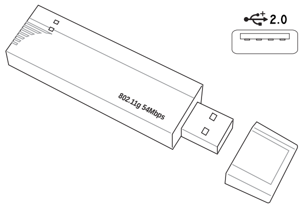
これらのアイテムは、必要に応じて、ノートブックPCにオプションとして追加することができます。

ワイヤレス LAN カード



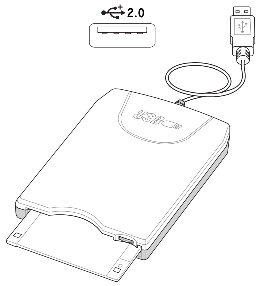
ASUS WLAN PC カード(WL-107g) はワイヤレスLANアダプタで、ノートPCのPCMCIA Type IIスロットに適合し、IEEE 802.11g/bワイヤレス標準を使用してワイヤレスネットワークを構築します。

ワイヤレス LAN USB アダプタ



ASUS USBワイヤレスLANアダプタ(WL-167g) は親指のサイズで、IEEE 802.11g/bワイヤレス標準を使用してワイヤレスネットワークを構築し、USB2.0接続性を使用するコンピュータに接続します。

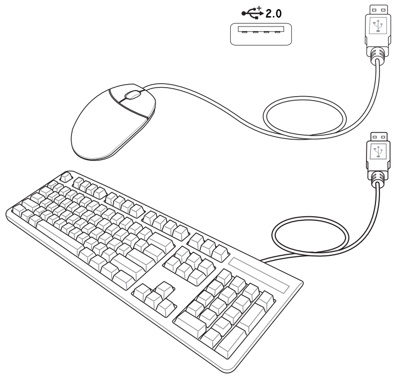
USBフロッピーディスクドライブ



ノートブックPCはオプションのUSBインターフェイスディスクドライブを装備して、標準の1.44MB (or 720KB) 3.5インチフロッピーディスケットを受け入れます。エジェクトボタンは、フロッピーディスクドライブの下部にエジェクトボタンがあるデスクトップPCとは異なり、簡単に手が届くようにフロッピーディスクドライブの上端にあります。フロッピーのアクセス動作は、フロッピーディスクドライブの前面にあるLEDを通して監視できます。

警告! システム障害を避けるために、USBフロッピーディスクドライブを取り外す前に、タスクバーの  (ハードウェアの安全な取り外し)を使用してください。ノートブックP C を輸送する前に、フロッピーディスクを取り出してください。衝撃でノートブックPCが損傷する原因となります。

USB キーボードとマウス



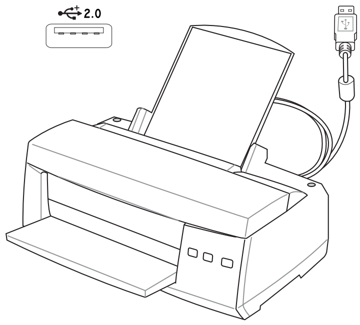
外部USBキーボードを接続すると、データ入力を快適に行えます。外部USBマウスを接続すると、Windowsの移動を快適に行えます。外部USBキーボードとマウスはどちらも、ノートブックPCの内蔵キーボードやタッチパッドと同時に作動します。

オプションの接続

これらのアイテムは、必要に応じて、サードパーティからお求めになることができます。

プリンタ接続

1つまたは複数のUSBプリンタを、任意のUSBポートで同時に使用できます。



用語説明

ACPI (Advanced Configuration and Power Management Interface)
コンピュータシステムの統合的電源管理方法の標準。

APM (Advanced Power Management)
コンピュータシステムの節電方法の標準。

AWG (American Wire Gauge)

注：この表は一般的な参照用です。この表は最新のものでも完全でもない可能性がありますので「American Wire Gauge」規格の原本として用いないでください。

AWG 番号	直径 (mm)	断面積 (mm^2)	抵抗 (ohm/km)	I@3A/mm^2 (mA)	AWG 番号	直径 (mm)	断面積 (mm^2)	抵抗 (ohm/km)	I@3A/mm^2 (mA)
33	0.18	0.026	676	75	24	0.50	0.20	87.5	588
	0.19	0.028	605	85		0.55	0.24	72.3	715
32	0.20	0.031	547	93		0.60	0.28	60.7	850
30	0.25	0.049	351	147	22	0.65	0.33	51.7	1.0 A
29	0.30	0.071	243	212		0.70	0.39	44.6	1.16 A
27	0.35	0.096	178	288		0.75	0.44	38.9	1.32 A
26	0.40	0.13	137	378	20	0.80	0.50	34.1	1.51 A
25	0.45	0.16	108	477		0.85	0.57	30.2	1.70 A

BIOS (Basic Input/Output System)
バイオス：基本入出力システムという意味。メモリ･ディスク･ビデオといった基本構成要素間のデータ転送を制御する。BIOSは、コンピュータのROM上におかれる。そのパラメータはセットアッププログラムにより変更可能で、EEPROM書き込みツールでアップデート可能である。

Bit (Binary Digit)
ビット：コンピュータ上で使われるデータ量を表す最少単位。0または1の値を持つ。

Boot
ブート：メインメモリにOSをロードすることにより、コンピュータを起動することを言う。「起動する」「立ち上げる」とも言う。マニュアルに「ブートしなさい」とあれば、それはコンピュータの電源を投入することを意味する。「リブート」は、再起動のこと。Windows95以降では、スタート→シャットダウンに「リブート」メニューがある。

Bus Master IDE
バスマスタ：PIO（プログラム可能なI/Oの意味）の場合は、機械的なタイミングでデータを読み書きしている。バスマスタでは、CPUに割り込みをかけることなく、データの転送が可能である。バスマスタ対応のハードディスクとドライバを用いるには、バスマスタ対応IDEモードが必要である。

Byte (Binary Term)
バイト：8 bitで1Byteである。「B」とも書く。

Clock Throttling
チップセットが持つ、CPUのクロックを制御する機能。節電・温度管理・CPU速度の制御を行う。

CPU (Central Processing Unit)
中央演算処理装置：「プロセッサ」とも表記される。コンピュータの頭脳にあたる。処理に割り込みをかけ、命令を実行し、データをメモリに保存する。

Device Driver
デバイスドライバ：単にドライバとも いう。ビデオ、サウンド、プリンタ、モデムといった機器をOSで制御できるようにする、それ専用の命令のセット。デバイスは装置の意味。

DVD (Digital Versatile Disc)
DVDは基本的に大きな高速CDで、ビデオだけでなくオーディオやコンピュータデータを保存できます。これらの容量とアクセス速度を持ったDVDディスクは、劇的に強化されたハイー、フルモーションビデオ、優れたグラフィックス、鮮明な画像、そしてDolby® Digitalサラウンドを提供して、劇場空間を実現します。DVDはホームエンタテインメント、コンピュータ、ビジネス情報を単一のデジタルフォーマットに包含して、最終的にはオーディオCD、ビデオテープ、レーザーディスク、CD-ROM、さらにはビデオゲームカートリッジに取って代わることを目的としています。

Hardware
ハードウェア：コンピュータシステムの物理的な構成機器・部品のこと。プリンタやモデムなどの周辺機器も含む。

IDE (Integrated Drive Electronics)
ハードディスク等のIDEデバイスは、その装置自身に制御回路が搭載され、SCSIのような個別のアダプタカードを必要としない。UltraDMA/33の33は、33MB/秒のデータ転送速度を持つことを示している。

IEEE1394
iLINK (Sony) または FireWire (Apple)とも呼ばれる。IEEE1394は、SCSIと同様の高速シリアルバスであるが、USBの様にホットプラグに対応しており、取り扱いが簡単になっている。一般的な 1394a インターフェースには、400 メガビット/秒の帯域幅があり、1 つのバスで最高 63 のユニットに対応できます。新型の 1394b インターフェースでは 2 倍の速度をサポート可能で、周辺機器の対応速度が上がったときに今後のモデルで採用していく予定です。パラレル・SCSI・EIDEに変わる新しいインターフェイスで、特に「DV」と呼ばれるデジタルビデオカメラ用のインターフェイスによく利用されている。

Infrared Port (IrDA)
赤外線ポート：赤外線を利用した無線データ通信手段で、4 Mビット/秒のデータ転送速度を持つ。コンピュータにPDA・携帯電話・プリンタなどを接続するのに利用される。会社のオフィスなどでは、IrDAを利用したネットワークがサポートされている場合があり、IrDAノードに直接接続することが可能である。IrDAネットワークを用いるとプリンタやファイルの共有ができ、また、邪魔になるケーブルが必要ないので持ち歩くことの多いNotebook PCに適した方式である。

Kensington® Locks

Kensington®は、コンピュータのセキュリティ関連商品を取り扱っているメーカーである。Notebook PCを持ち去られないように金属製ワイヤで固定することが出来る製品がある。また、対象物を動かした時に音で警報を発する機能を持つ製品もある。(日本のPC関連雑誌にも広告が載っています。)

Laser Classifications

レーザーは近年頻繁にまた広範囲に使用されるようになっているため、レーザーのレーザー光線障害をユーザーに警告する必要性が明らかになってきています。この必要性を満たすために、レーザー分類が制定されました。現在の分類レベルは光学的に安全であり、制御を必要としない(Class 1)からきわめて危険で、厳しい制御を必要とする(Class 4)までさまざまです。

CLASS 1: Class 1レーザーまたはレーザーシステムは目に安全なレベルの光学的エネルギーを放射し、それ故に制御を必要としません。このクラスのレーザーシステムの例は、ほとんどの食料品店で見られる清算スキャニング装置または光ドライブで使用されるレーザーです。

CLASS 2とCLASS 3A: Class 2とC^ss 3A レーザーは目に見える、最大許容露光量(MPE)レベルより少し上の持続波(CW)光学的放射レベルを放射します。これらのレーザーは目に損傷を与えることもありますが、その明るさのために通常、観測者はすぐ目をそらすかまばたきをするので目に損傷をうけることはありません。これらのレーザーは厳しい管理統制を行い、光線を直接見ないように警告する人員配置の標識が要求されます。Class 3Aレーザーを光学補助デバイスで見てはいけません。

CLASS 3B: Class 3Bレーザー、および2.5mWの出力を持つClass 3Aレーザーは光線路内にいて、光源を直接または正反射した光を見る作業員には危険があります。これらのレーザーは危険な拡散反射を引き起こせません。これらのレーザーを扱う作業員は、レーザーを操作している間、適切な目の保護具を着用する必要があります。Class 3Bレーザーは作業員を保護するために、管理統制および物的管理を受けます。物的管理には、作業区域の制限付き利用が含まれます。管理統制には、レーザー作業領域への入り口の外側に貼られた特殊な警告標識、およびレーザーを使用していることを作業員に知らせる入り口の外側のランプが含まれます。

CLASS 4: Class 4レーザーは高出力レーザーで、光線内を見ることによって、またお反射または拡散反射によって、保護されていない目や皮膚に損傷を与える原因となります。それ故に、適切な保護めがねを着用せずにClass 4レーザーを操作している部屋には、誰も入ってはいけません。

PCI Bus (Peripheral Component Interconnect Local Bus)

データ転送用の32ビットバスとして定義される。今日では、拡張カードの標準となっている。

PC Cards (PCMCIA)

PCMCIAが正式名だが、簡単にPCカードと呼ばれる。名刺サイズのカードで、一方の端に68ピンのコネクタが付いている。主に携帯用コンピュータに採用され、フラッシュメモリ･FAX/モデム･ネットワーク･SCSIインターフェイス･MPEG I/IIデコーダ･無線LANなど様々な種類がある。本Notebook PCでは、PCMCIA 2.1規格および32ビットCardBus規格をサポートしている。PCカードは厚さによって分類され、Type I =厚さ3.3mm、Type II=厚さ 5mm、Type III=厚さ10.5mmの 3 種類がある。Type I および Type II カードは 1 つのカードスロットに装着できるが、Type IIIカードは 2 つ分のスロットが必要である。

A 付録

POST (Power On Self Test)

ポスト：電源投入時の自己診断。コンピュータの電源を入れた時、一番最初に実行される。POSTは、メモリ·マザーボード回路·ディスプレイ·キーボード·ディスクドライブおよび他の入出力装置をチェックする。

RAM (Random Access Memory)

ランダム·アクセス·メモリ：DRAM (Dynamic RAM), EDO DRAM (Extended Data Output DRAM), SDRAM (Synchronous DRAM)などの種類がある。

ROM (Read Only Memory)

読み取り専用メモリ：特定のコンピュータ部品において固定プログラム（ファームウェア）を格納するのに使われる不揮発性のメモリ。FlashROMおよびEEPROMは、プログラムの書換えが可能となっている。

Suspend Mode

サスペンドモード：コンピュータの休止状態のことで、本Notebook PCでは、Save-to-RAM(STR)状態のことをいう。CPUのクロックが停止し、電力消費は最低限に押さえられる。Notebook PCが一定時間アクセスされないと自動的にサスペンドモードに移行するようにBIOSセットアップで設定できる。また、Fnキーを用いて手動でサスペンドさせることも可能である。サスペンドモード中は、Notebook PCの電源LEDが点滅する。

System Disk

システムディスク：OSの基本ファイルを含み、コンピュータとOSを起動するのに用いられる。

TPM (Trusted Platform Module) (on selected models)

TPM はシステムボード上のセキュリティチップで、暗号化のためのコンピュータ処理キーを保護します。このハードウェアベースのソリューションは、貴重なデータへのパスワード、暗号キーを盗もうとするハッカーの攻撃を阻止します。アプリケーションの実行をより安定したものにし、円滑なデータ転送を実現します。

Twisted-Pair Cable

ツイストペアケーブル：対撚り線のこと。イーサネット用ケーブルに用いられており、TPE (Twisted Pair Ethernet)と呼ばれる。両端には、RJ-45コネクタが取り付けられており、ハブやネットワークカードに接続できるようになっている。(RJ-11＝電話機用コネクタとの違いに注意。互換性はない。)

UltraDMA/66 or 100

インテルによってデザインされた同期DMA技術である。PIIX4チップセットに実装されている。従来のIDEデータ転送では、タイミング信号の立ち上がりのエッジしか用いてなかったが、Ultra DMAでは、立ち上がりと立ち下がりの両方のエッジを用いる。PIO4に比べて理論上、転送速度が２倍になる。Ultra ATAとも書く。

USB (Universal Serial Bus)

４芯のケーブルに最大127台の機器が接続できるインターフェイス。キーボード·マウス·ジョイスティック·スキャナ·プリンタ·モデム·ディスプレイなどのデータを 1種類の信号で共有できる、トークン方式のインターフェイスである。他の機器が稼働中でもケーブルの抜き差しが出来る。１つのケーブルで同期·非同期方式に対応しており、最大転送速度は12Mビット/秒である。USB2.0では、スピードが倍にあがり、これは、1394規格に匹敵する。

安全上の注意

DVD-ROMドライブ情報

ノートブックPCには、オプションでDVD-ROMドライブまたはCD-ROMドライブが付いています。DVDタイトルを表示するには、専用のDVDビューアソフトウェアをインストールする必要があります。オプションのDVDビューアソフトウェアは、このノートブックPCとともにお求めになることができます。DVD-ROM ドライバでは、CDとDVDディスクをどちらも使用することができます。

地域再生情報

DVDムービータイトルの再生には、MPEGビデオの復号、デジタルオーディオ、 CSS保護されたコンテンツの復号化が含まれます。CSS（コピーガードと呼ばれることもときどきあります）は動画産業が採用したコンテンツ保護計画に与えられた名前で、違法なコンテンツコピーから保護する必要を満たしています。

CSSライセンサに課された設計規則はたくさんありますが、もっとも適切な規則の一つは、地域化されたコンテンツに関する再生の制限です。場所によってばらばらなムービーリリースを円滑にするために、DVDビデオタイトルは下の「地域定義」で定義された特定の地理的地域に対してリリースされます。著作権法は、全てのDVDムービー特定の地域（普通、販売されている地域に対してコード化されている）に限定されることを要求しています。DVDムービーコンテンツは、複数の地域でリリースされるので、CSSの設計規則はCSSで暗号化されたコンテンツを再生できるどのシステムも、一つの地域でしか再生できないことを要求しています。

注: 地域設定はビューアソフトウェアを使用して、5回まで変更できます。それからは、DVDムービーは最後の地域設定に対してのみ再生できます。その後、地域コードを変更するには、出荷時設定にリセットする必要がありますが、これは保証の対象外です。リセットをご希望の場合、輸送費とリセットにかかる費用はお客様の負担となります。

地域定義

地域1

カナダ、米国、米国の領土

地域2

チェコ、エジプト、フィンランド、ドイツ、ペルシア湾岸諸国、ハンガリー、アイスランド、イラン、イラク、アイルランド、イタリア、日本、オランダ、ノルウェー、ポーランド、ポルトガル、サウジアラビア、スコットランド、南アフリカ、スペイン、スウェーデン、スイス、シリア、トルコ、イギリス、ギリシャ、前ユーゴスラビア共和国、スロバキア

地域3

ブルマ、インドネシア、韓国、マレーシア、フィリピン、シンガポール、台湾、タイ、ベトナム

地域4

オーストラリア、西インド諸島（米国領土を除く）、中央アメリカ、ニュージーランド、太平洋諸島、南アメリカ

地域5

CIS、インド、パキスタン、その他のアフリカ、ロシア、北朝鮮

地域6

中国

内蔵モデムの適応規格(規格/プロトコルなど原文掲載)

適応規格とプロトコル

The Portable Desktop PC with internal modem model complies with JATE (Japan), FCC (US, Canada, Korea, Taiwan), and CTR21. The internal modem has been approved in accordance with Council Decision 98/482/EC for pan-European single terminal connection to the public switched telephone network (PSTN). However due to differences between the individual PSTNs provided in different countries, the approval does not, of itself, give an unconditional assurance of successful operation on every PSTN network termination point. In the event of problems you should contact your equipment supplier in the first instance.

Overview

On 4th August 1998 the European Council Decision regarding the CTR 21 has been published in the Official Journal of the EC. The CTR 21 applies to all non voice terminal equipment with DTMF-dialling which is intended to be connected to the analogue PSTN (Public Switched Telephone Network).

CTR 21 (Common Technical Regulation) for the attachment requirements for connection to the analogue public switched telephone networks of terminal equipment (excluding terminal equipment supporting the voice telephony justified case service) in which network addressing, if provided, is by means of dual tone multifrequency signalling.

Network Compatibility Declaration

Statement to be made by the manufacturer to the Notified Body and the vendor: "This declaration will indicate the networks with which the equipment is designed to work and any notified networks with which the equipment may have inter-working difficulties"

Network Compatibility Declaration

Statement to be made by the manufacturer to the user: "This declaration will indicate the networks with which the equipment is designed to work and any notified networks with which the equipment may have inter-working difficulties. The manufacturer shall also associate a statement to make it clear where network compatibility is dependent on physical and software switch settings. It will also advise the user to contact the vendor if it is desired to use the equipment on another network."

Up to now the Notified Body of CETECOM issued several pan-European approvals using CTR 21. The results are Europe's first modems which do not require regulatory approvals in each individual European country.

Non-Voice Equipment

Answering machines and loud-speaking telephones can be eligible as well as modems, fax machines, auto-dialers and alarm systems. Equipment in which the end-to-end quality of speech is controlled by regulations (e.g. handset telephones and in some countries also cordless telephones) is excluded.

内蔵モデムの適応規格(規格/プロトコルなど原文掲載)(続き)

CTR21 を採用する国家(英文)

Country	Applied	More Testing
Austria[1]	Yes	No
Belgium	Yes	No
Czech Republic	No	not applicable
Denmark[1]	Yes	Yes
Finland	Yes	No
France	Yes	No
Germany	Yes	No
Greece	Yes	No
Hungary	No	not applicable
Iceland	Yes	No
Ireland	Yes	No
Italy	Pending	Pending
Israel	No	No
Lichtenstein	Yes	No
Luxemburg	Yes	No
The Netherlands[1]	Yes	Yes
Norway	Yes	No
Poland	No	not applicable
Portugal	No	not applicable
Spain	No	not applicable
Sweden	Yes	No
Switzerland	Yes	No
United Kingdom	Yes	No

This information was copied from CETECOM and is supplied without liability. For updates to this table, you may visit http://www.cetecom.de/technologies/ctr_21.html

[1] National requirements will apply only if the equipment may use pulse dialling (manufacturers may state in the user guide that the equipment is only intended to support DTMF signalling, which would make any additional testing superfluous).

In The Netherlands additional testing is required for series connection and caller ID facilities.

Federal Communications Commission Statement

This device complies with FCC Rules Part 15. Operation is subject to the following two conditions:

- This device may not cause harmful interference, and
- This device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

This equipment has been tested and found to comply with the limits for a class B digital device, pursuant to Part 15 of the Federal Communications Commission (FCC) rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses, and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation. If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

- Reorient or relocate the receiving antenna.
- Increase the separation between the equipment and receiver.
- Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
- Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.

WARNING! The use of a shielded-type power cord is required in order to meet FCC emission limits and to prevent interference to the nearby radio and television reception. It is essential that only the supplied power cord be used. Use only shielded cables to connect I/O devices to this equipment. You are cautioned that changes or modifications not expressly approved by the party responsible for compliance could void your authority to operate the equipment.

Reprinted from the Code of Federal Regulations #47, part 15.193, 1993. Washington DC: Office of the Federal Register, National Archives and Records Administration, U.S. Government Printing Office.

CE Mark Warning

This is a Class B product, in a domestic environment, this product may cause radio interference, in which case the user may be required to take adequate measures.

FCC Radio Frequency Interference Requirements

MPE Statement: Your device contains a low power transmitter. When device is transmitted it sends out Radio Frequency (RF) signal.

This device is restricted to INDOOR USE due to its operation in the 5.15 to 5.25GHz frequency range. FCC requires this product to be used indoors for the frequency range 5.15 to 5.25GHz to reduce the potential for harmful interference to co-channel of the Mobile Satellite Systems.

High power radars are allocated as primary user of the 5.25 to 5.35GHz and 5.65 to 5.85GHz bands. These radar stations can cause interference with and / or damage this device.

This device and its antenna(s) must not be co-located or operating in conjunction with any other antenna or transmitter.

FCC RF Exposure Guidelines (Wireless Clients)

This device has been tested for compliance with FCC RF Exposure (SAR) limits in typical portable configurations. In order to comply with SAR limits established in the ANSI C95.1 standards, it is recommended when using a wireless LAN adapter that the integrated antenna is positioned more than **[20cm]** from your body or nearby persons during extended periods of operation. If the antenna is positioned less than **[20cm]** from the user, it is recommended that the user limit the exposure time.

FCC Radio Frequency Exposure Caution Statement

Installation and use of this wireless LAN device must be in strict accordance with the instructions included in the user documentation provided with the product. Use only with supplied antenna. Unauthorized antenna, modification, or attachments could damage the transmitter and may violate FCC regulations. Any changes of modifications not expressly approved by the grantee of this device could void the users authority to operate the equipment. Any changes or modifications (including the antennas) made to this device that are not expressly approved by the manufacturer may void the user's authority to operate the equipment.

The manufacturer is not responsible for any radio or television interference caused by unauthorized modification of this device, or the substitution or attachment of connecting cables and equipment other than manufacturer specified. It is the responsibility of the user to correct any interference caused by such unauthorized modification, substitution or attachment. Manufacturer and its authorized resellers or distributors will assume no liability for any damage or violation of government regulations arising from failing to comply with these guidelines.

Declaration of Conformity (R&TTE directive 1999/5/EC)

The following items were completed and are considered relevant and sufficient:

- Essential requirements as in [Article 3]
- Protection requirements for health and safety as in [Article 3.1a]
- Testing for electric safety according to [EN 60950]
- Protection requirements for electromagnetic compatibility in [Article 3.1b]
- Testing for electromagnetic compatibility in [EN 301 489-1] & [EN 301]
- Testing according to [489-17]
- Effective use of the radio spectrum as in [Article 3.2]
- Testing for radio test suites according to [EN 300 328-2]

Wireless Operation Channel for Different Domains

N. America	2.412-2.462 GHz	Ch01 through CH11
Japan	2.412-2.484 GHz	Ch01 through Ch14
Europe ETSI	2.412-2.472 GHz	Ch01 through Ch13

France Restricted Wireless Frequency Bands

Some areas of France have a restricted frequency band. The worst case maximum authorized power indoors are:

- 10mW for the entire 2.4 GHz band (2400 MHz–2483.5 MHz)
- 100mW for frequencies between 2446.5 MHz and 2483.5 MHz

NOTE: Channels 10 through 13 inclusive operate in the band 2446.6 MHz to 2483.5 MHz.

There are few possibilities for outdoor use: On private property or on the private property of public persons, use is subject to a preliminary authorization procedure by the Ministry of Defense, with maximum authorized power of 100mW in the 2446.5–2483.5 MHz band. Use outdoors on public property is not permitted.

In the departments listed below, for the entire 2.4 GHz band:

- Maximum authorized power indoors is 100mW
- Maximum authorized power outdoors is 10mW

Departments in which the use of the 2400–2483.5 MHz band is permitted with an EIRP of less than 100mW indoors and less than 10mW outdoors:

01 Ain Orientales	02 Aisne	03 Allier	05 Hautes Alpes
08 Ardennes	09 Ariège	11 Aude	12 Aveyron
16 Charente	24 Dordogne	25 Doubs	26 Drôme
32 Gers	36 Indre	37 Indre et Loire	41 Loir et Cher
45 Loiret	50 Manche	55 Meuse	58 Nièvre
59 Nord	60 Oise	61 Orne	63 Puy du Dôme
64 Pyrénées Atlantique	66 Pyrénées	67 Bas Rhin	68 Haut Rhin
70 Haute Saône	71 Saône et Loire	75 Paris	82 Tarn et Garonne
84 Vaucluse	88 Vosges	89 Yonne	90 Territoire de Belfort
94 Val de Marne			

This requirement is likely to change over time, allowing you to use your wireless LAN card in more areas within France. Please check with ART for the latest information (www.art-telecom.fr)

NOTE: Your WLAN Card transmits less than 100mW, but more than 10mW.

UL Safety Notices

Required for UL 1459 covering telecommunications (telephone) equipment intended to be electrically connected to a telecommunication network that has an operating voltage to ground that does not exceed 200V peak, 300V peak-to-peak, and 105V rms, and installed or used in accordance with the National Electrical Code (NFPA 70).

When using the Notebook PC modem, basic safety precautions should always be followed to reduce the risk of fire, electric shock, and injury to persons, including the following:

- **Do not use** the Notebook PC near water, for example, near a bath tub, wash bowl, kitchen sink or laundry tub, in a wet basement or near a swimming pool.
- **Do not use** the Notebook PC during an electrical storm. There may be a remote risk of electric shock from lightning.
- **Do not use** the Notebook PC in the vicinity of a gas leak.

Required for UL 1642 covering primary (nonrechargeable) and secondary (rechargeable) lithium batteries for use as power sources in products. These batteries contain metallic lithium, or a lithium alloy, or a lithium ion, and may consist of a single electrochemical cell or two or more cells connected in series, parallel, or both, that convert chemical energy into electrical energy by an irreversible or reversible chemical reaction.

- **Do not** dispose the Notebook PC battery pack in a fire, as they may explode. Check with local codes for possible special disposal instructions to reduce the risk of injury to persons due to fire or explosion.
- **Do not** use power adapters or batteries from other devices to reduce the risk of injury to persons due to fire or explosion. Use only UL certified power adapters or batteries supplied by the manufacturer or authorized retailers.

Power Safety Requirement

Products with electrical current ratings up to 6A and weighing more than 3Kg must use approved power cords greater than or equal to: H05VV-F, 3G, 0.75mm^2 or H05VV-F, 2G, 0.75mm^2.

Nordic Cautions (for Notebook PC with Lithium-Ion Battery)

CAUTION! Danger of explosion if battery is incorrectly replaced. Replace only with the same or equivalent type recommended by the manufacturer. Dispose of used batteries according to the manufacturer's instructions. (English)

ATTENZIONE! Rischio di esplosione della batteria se sostituita in modo errato. Sostituire la batteria con un una di tipo uguale o equivalente consigliata dalla fabbrica. Non disperdere le batterie nell'ambiente. (Italian)

VORSICHT! Explosionsgetahr bei unsachgemäßen Austausch der Batterie. Ersatz nur durch denselben oder einem vom Hersteller empfohlenem ähnlichen Typ. Entsorgung gebrauchter Batterien nach Angaben des Herstellers. (German)

ADVARSELI! Lithiumbatteri - Eksplosionsfare ved fejlagtig håndtering. Udskiftning må kun ske med batteri af samme fabrikat og type. Levér det brugte batteri tilbage til leverandøren. (Danish)

VARNING! Explosionsfara vid felaktigt batteribyte. Använd samma batterityp eller en ekvivalent typ som rekommenderas av apparattillverkaren. Kassera använt batteri enligt fabrikantens instruktion. (Swedish)

VAROITUS! Paristo voi räjähtää, jos se on virheellisesti asennettu. Vaihda paristo ainoastaan laitevalmistajan sousittelemaan tyyppiin. Hävitä käytetty paristo valmistagan ohjeiden mukaisesti. (Finnish)

ATTENTION! Il y a danger d'explosion s'il y a remplacement incorrect de la batterie. Remplacer uniquement avec une batterie du mêre type ou d'un type équivalent recommandé par le constructeur. Mettre au rebut les batteries usagées conformément aux instructions du fabricant. (French)

ADVARSEL! Eksplosjonsfare ved feilaktig skifte av batteri. Benytt samme batteritype eller en tilsvarende type anbefalt av apparatfabrikanten. Brukte batterier kasseres i henhold til fabrikantens instruksjoner. (Norwegian)

注意！ この装置は、現在設置されている場所で妨害波の測定がされた情報技術装置です。
この場所以外で使用する場合は、その場所で、再び妨害波の測定が必要となります。(Japanese)

Optical Drive Safety Information

Laser Safety Information

Internal or external optical drives sold with this Notebook PC contains a CLASS 1 LASER PRODUCT (LASER KLASSE 1 PRODUKT). Laser classifications can be found in the glossary at the end of this user's manual.

WARNING: Making adjustments or performing procedures other than those specified in the user's manual may result in hazardous laser exposure. Do not attempt to disassemble the optical drive. For your safety, have the optical drive serviced only by an authorized service provider.

Service warning label

CAUTION: INVISIBLE LASER RADIATION WHEN OPEN. DO NOT STARE INTO BEAM OR VIEW DIRECTLY WITH OPTICAL INSTRUMENTS.

CDRH Regulations

The Center for Devices and Radiological Health (CDRH) of the U.S. Food and Drug Administration implemented regulations for laser products on August 2, 1976. These regulations apply to laser products manufactured from August 1, 1976. Compliance is mandatory for products marketed in the United States.

WARNING: Use of controls or adjustments or performance of procedures other than those specified herein or in the laser product installation guide may result in hazardous radiation exposure.

Macrovision Corporation Product Notice

This product incorporates copyright protection technology that is protected by method claims of certain U.S.A. patents and other intellectual property rights owned by Macrovision Corporation and other rights owners. Use of this copyright protection technology must be authorized by Macrovision Corporation, and is intended for home and other limited viewing uses only *unless otherwise authorized by Macrovision Corporation*. Reverse engineering or disassembly is prohibited.

CTR 21 Approval (for Notebook PC with built-in Modem)

Danish

»Udstyret er i henhold til Rådets beslutning 98/482/EF EU-godkendt til at blive opkoblet på de offentlige telefonnet som enkeltforbundet terminal. På grund af forskelle mellem de offentlige telefonnet i de forskellige lande giver godkendelsen dog ikke i sig selv ubetinget garanti for, at udstyret kan fungere korrekt på samtlige nettermineringspunkter på de offentlige telefonnet.

I tilfælde af problemer bør De i første omgang henvende Dem til leverandøren af udstyret.«

Dutch

„Dit apparaat is goedgekeurd volgens Beschikking 98/482/EG van de Raad voor de pan-Europese aansluiting van enkelvoudige eindapparatuur op het openbare geschakelde telefoonnetwerk (PSTN). Gezien de verschillen tussen de individuele PSTN's in de verschillende landen, biedt deze goedkeuring op zichzelf geen onvoorwaardelijke garantie voor een succesvolle werking op elk PSTN-netwerkaansluitpunt.

Neem bij problemen in eerste instantie contact op met de leverancier van het apparaat.".

English

'The equipment has been approved in accordance with Council Decision 98/482/EC for pan-European single terminal connection to the public switched telephone network (PSTN). However, due to differences between the individual PSTNs provided in different countries, the approval does not, of itself, give an unconditional assurance of successful operation on every PSTN network termination point.

In the event of problems, you should contact your equipment supplier in the first instance.'

French

«Cet équipement a reçu l'agrément, conformément à la décision 98/482/CE du Conseil, concernant la connexion paneuropéenne de terminal unique aux réseaux téléphoniques publics commutés (RTPC). Toutefois, comme il existe des différences d'un pays à l'autre entre les RTPC, l'agrément en soi ne constitue pas une garantie absolue de fonctionnement optimal à chaque point de terminaison du réseau RTPC.

En cas de problème, vous devez contacter en premier lieu votre fournisseur.»

German

„Dieses Gerät wurde gemäß der Entscheidung 98/482/EG des Rates europaweit zur Anschaltung als einzelne Endeinrichtung an das öffentliche Fernsprechnetz zugelassen. Aufgrund der zwischen den öffentlichen Fernsprechnetzen verschiedener Staaten bestehenden Unterschiede stellt diese Zulassung an sich jedoch keine unbedingte Gewähr für einen erfolgreichen Betrieb des Geräts an jedem Netzabschlußpunkt dar.

Falls beim Betrieb Probleme auftreten, sollten Sie sich zunächst an ihren Fachhändler wenden."

Italian

«La presente apparecchiatura terminale è stata approvata in conformità della decisione 98/482/CE del Consiglio per la connessione paneuropea come terminale singolo ad una rete analogica PSTN. A causa delle differenze tra le reti dei differenti paesi, l'approvazione non garantisce però di per sé il funzionamento corretto in tutti i punti di terminazione di rete PSTN.

In caso di problemi contattare in primo luogo il fornitore del prodotto.»

Portuguese

«Este equipamento foi aprovado para ligação pan-europeia de um único terminal à rede telefónica pública comutada (RTPC) nos termos da Decisão 98/482/CE. No entanto, devido às diferenças existentes entre as RTPC dos diversos países, a aprovação não garante incondicionalmente, por si só, um funcionamento correcto em todos os pontos terminais da rede da RTPC.

Em caso de problemas, deve entrar-se em contacto, em primeiro lugar, com o fornecedor do equipamento.»

Spanish

«Este equipo ha sido homologado de conformidad con la Decisión 98/482/CE del Consejo para la conexión paneuropea de un terminal simple a la red telefónica pública conmutada (RTPC). No obstante, a la vista de las diferencias que existen entre las RTPC que se ofrecen en diferentes países, la homologación no constituye por sí sola una garantía incondicional de funcionamiento satisfactorio en todos los puntos de terminación de la red de una RTPC.

En caso de surgir algún problema, procede ponerse en contacto en primer lugar con el proveedor del equipo.».

Japanese Notic

本装置は、第二種情報装置（住宅地域またはその隣接した地域において使用されるべき情報装置）で住宅地域での電波障害防止を目的とした情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)基準に適合しております。しかし、本装置をラジオ、テレビジョン受信機に、近接してご使用になると、受信障害の原因となることがあります。本書の説明にしたがって正しい取り扱いをしてください。

Japanese Modem Notice

本製品を日本で使用する場合は必ず日本国モードでご使用ください。他国のモードをご使用になると電気通信事業法（技術基準）に違反す行為となります。なお、ご購入時は初期値が日本国モードとなっておりますので、そのままご利用ください。

A 付録

オーナー情報

テクニカルサポートを受ける時の参照用にNotebook PCの情報を記録しておいてください。ここにパスワードを記載した場合には、本書の取り扱いにご注意ください。

お名前:________________________________ お電話:_______________________

製品名:___________________________________ 型番:______________________

販売店:___________________________________ 電話:______________________

ディスプレイサイズ:______ 購入日:________ シリアルナンバー:__________________

ハードディスクメーカー:________________________ 容量:______________________

BIOSバージョン:______________________________ 日付:____________________

付属品:____________________________ シリアルナンバー:______________________

付属品:____________________________ シリアルナンバー:______________________

ソフトウェア

オペレーティングシステム:____

ソフトウェア:______________________ シリアルナンバー:_______________________

ソフトウェア:______________________ シリアルナンバー:_______________________

セキュリティ

管理者パスワード:________________ユーザーパスワード:_______________________
HDDパスワード:________________

ネットワーク

ユーザー名:____________ パスワード:____________ ドメイン:_________________
ユーザー名:____________ パスワード:____________ ドメイン:_________________